

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-6

< 第21週 >

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向



注目すべき感染症

< 今週は該当記事はありません >



病原体情報
P.7-9

風疹ウイルス 2012～2013年



速報

< 今週は該当記事はありません >



海外感染症情報
P.10-19

新種のコロナウイルス感染症について / アフリカの角(つの)地域でポリオ(野生型ポリオウイルス)が発生しています / 中東で発生している新種のコロナウイルス感染症について / 世界におけるインフルエンザ流行状況 / 鳥インフルエンザA(H7N9)の患者が発生しています / 中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について / エチオピアで黄熱の患者が発生しました / イスラエルで、環境中の検体からポリオウイルスが検出されました



感染症の話
P.20

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(21週)
P.21-26



21週のデータ
P.27-40



発生動向総覧

< 第21週コメント > 5月29日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核366例

3類感染症

細菌性赤痢3例

菌種: *S. flexneri*(B群)1例__感染地域: カンボジア

S. sonnei(D群)2例__感染地域: 新潟県1例、ベトナム1例

腸管出血性大腸菌感染症37例(有症者25例、うちHUS なし)

感染地域: 国内37例

国内の感染地域: 埼玉県5例、大分県3例、群馬県2例、千葉県2例、東京都2例、福岡県2例、宮崎県2例、福島県1例、神奈川県1例、長野県1例、愛知県1例、京都府1例、大阪府1例、兵庫県1例、高知県1例、鹿児島県1例、沖縄県1例、不明9例

年齢群: 1歳(2例)、2歳(2例)、6歳(2例)、7歳(2例)、9歳(1例)、10代(4例)、20代(9例)、30代(5例)、40代(3例)、60代(2例)、70代(3例)、80代(1例)、90代(1例)

血清型・毒素型: O157 VT2(11例)、O157 VT1・VT2(10例)、O26 VT1(3例)、O121 VT2(3例)、O157 VT不明(2例)、O25 VT1・VT2(1例)、O26 VT2(1例)、O91 VT1(1例)、O115 VT1(1例)、O121 VT不明(1例)、O128 VT1(1例)、その他・不明(2例)

累積報告数: 325例(有症者232例、うちHUS 7例 .死亡なし)

腸チフス1例

感染地域: カンボジア

パラチフス4例

感染地域: カンボジア/中国/台湾1例、カンボジア1例、パキスタン1例、インドネシア1例

4類感染症

E型肝炎2例

感染地域: 群馬県1例__感染源: シカ肉取扱い

感染地域: 国内(都道府県不明)1例__感染源: 不明

A型肝炎2例

感染地域: 兵庫県1例、宮崎県1例

重症熱性血小板減少症候群1例

感染地域: 宮崎県(2013年5月発症)

年齢群: 60代

つつが虫病6例 感染地域: 青森県2例、岩手県1例、秋田県1例、新潟県1例、長野県1例

デング熱5例 感染地域: フィリピン3例、タイ1例、インドネシア1例

マラリア1例 原虫種不明__感染地域: ケニア

レジオネラ症15例(肺炎型15例)
 感染地域: 岐阜県2例(うち温泉1例)、宮城県2例(うち温泉1例)、宮城県1例、茨城県1例、千葉県1例、神奈川県1例、静岡県1例、京都府1例、大阪府1例(温泉)、熊本県1例、大分県1例、富山県/石川県1例、国内(都道府県不明) 1例
 年齢群: 50代(2例)、60代(6例)、70代(6例)、80代(1例)

5類感染症

アメーバ赤痢15例(腸管アメーバ症12例、腸管外アメーバ症2例、腸管及び腸管外アメーバ症1例)
 感染地域: 千葉県1例、東京都1例、長野県1例、愛知県1例、滋賀県1例、京都府1例、大阪府1例、徳島県1例、国内(都道府県不明) 4例、インドネシア1例、国外(国不明) 1例、国内・国外不明1例
 感染経路: 経口感染1例、性的接触5例(異性間3例、同性間1例、異性間・同性間不明1例)、不明9例

ウイルス性肝炎4例 B型4例__感染経路: 性的接触4例(異性間3例、同性間1例)

急性脳炎3例 ロタウイルス1例__年齢群: 5歳
 病原体不明2例__年齢群: 0歳(1例)、40代(1例)

クロイツフェルト・ヤコブ病2例
 孤発性プリオン病古典型2例

劇症型溶血性レンサ球菌感染症7例
 年齢群: 30代(1例 . 死亡)、40代(1例)、60代(3例)、70代(1例)、80代(1例)

後天性免疫不全症候群23例(AIDS 5例、無症候18例)
 感染地域: 国内20例、国外(国不明) 2例、国内・国外不明1例
 感染経路: 性的接触19例(異性間1例、同性間18例)、不明4例

ジアルジア症1例 感染地域: タイ

侵襲性インフルエンザ菌感染症2例(肺炎のみ2例__菌検出検体: 血液2例)
 年齢群: 60代(1例)、90代(1例)

侵襲性髄膜炎菌感染症1例(菌検出検体: 血液)
 感染地域: 広島県
 年齢群: 70代 . 死亡

侵襲性肺炎球菌感染症19例(うち、髄膜炎のみ1例__菌検出検体: 血液16例、髄液2例、血液・髄液1例)
 年齢群: 0歳(3例)、1歳(3例)、3歳(1例)、40代(2例 . うち1例死亡)、50代(1例)、60代(5例 . うち1例死亡)、70代(2例)、80代(1例)、90代(1例)

梅毒20例(早期顕症I期1例、早期顕症II期8例、無症候11例)

破傷風2例 年齢群 : 80代(2例)

風しん673例(検査診断例397例、臨床診断例276例)

感染地域 : 大阪府163例、東京都93例、兵庫県72例、神奈川県32例、和歌山県16例、千葉県15例、京都府15例、鹿児島県13例、埼玉県10例、愛知県9例、福岡県7例、滋賀県6例、茨城県5例、群馬県5例、静岡県5例、奈良県5例、宮城県4例、栃木県4例、島根県4例、岡山県4例、三重県3例、愛媛県3例、福島県2例、山梨県2例、熊本県2例、宮崎県2例、沖縄県2例、青森県1例、岩手県1例、長野県1例、徳島県1例、高知県1例、国内(都道府県不明)161例、マレーシア1例、フィリピン1例、国内・国外不明2例

年齢群 : 0歳(6例) 1歳(15例) 2歳(3例) 4歳(4例) 5 ~ 9歳(6例) 10 ~ 14歳(16例) 15 ~ 19歳(45例) 20 ~ 24歳(108例) 25 ~ 29歳(94例) 30 ~ 34歳(98例) 35 ~ 39歳(91例) 40代(121例) 50代(52例) 60代(11例) 70代(2例) 80代(1例)

累積報告数 : 8,507例(検査診断例5,883例、臨床診断例2,624例)

麻しん9例(麻しん 検査診断例1例、臨床診断例5例) 修飾麻しん3例)

感染地域 : 神奈川県3例、兵庫県2例、大阪府1例、奈良県1例、広島県1例、福岡県1例

年齢群 : 0歳(1例) 1歳(1例) 15 ~ 19歳(1例) 25 ~ 29歳(1例) 30 ~ 34歳(3例) 35 ~ 39歳(1例) 40代(1例)

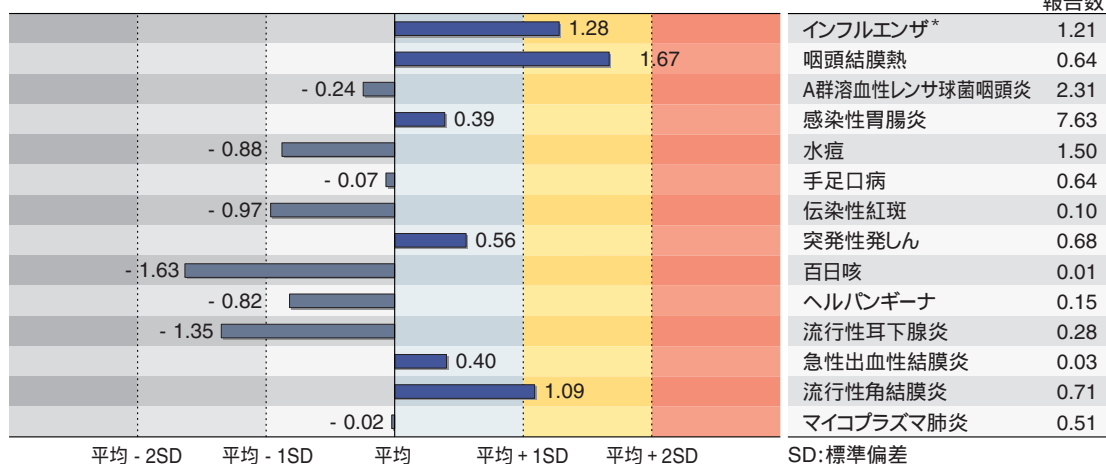
累積報告数 : 138例(麻しん 検査診断例48例、臨床診断例54例) 修飾麻しん36例)

(補)他にアメーバ赤痢1例の報告があったが削除予定。また、2012年第21週から2013年第20週までに診断されたものの報告遅れとして、コクシジオイデス症1例(感染地域 : 米国) 急性脳炎2例(病原体不明2例__年齢群 : 0歳(2例))、侵襲性髄膜炎菌感染症2例(感染地域 : 福岡県1例__年齢群 : 40代 . 感染地域 : 沖縄県1例__年齢群 : 60代)などの報告があった。前週に報告されたマラリア1例については、熱帯熱のみであるとして修正された。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第21週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(*2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は第18週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では沖縄県(4.64)、富山県(3.81)、宮崎県(3.81)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は429例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では佐賀県(2.65)、鹿児島県(1.55)、宮崎県(1.47)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福井県(4.91)、鳥取県(4.47)、新潟県(4.16)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では山形県(14.57)、大分県(14.17)、新潟県(13.34)が多い。

水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では宮崎県(3.33)、福岡県(2.56)、愛媛県(2.51)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では福岡県(3.67)、沖縄県(2.91)、島根県(2.43)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では富山県(1.28)、新潟県(0.52)、岩手県(0.38)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福井県(0.09)、沖縄県(0.06)、山梨県(0.04)が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では佐賀県(0.91)、山口県(0.60)、熊本県(0.50)が多い。

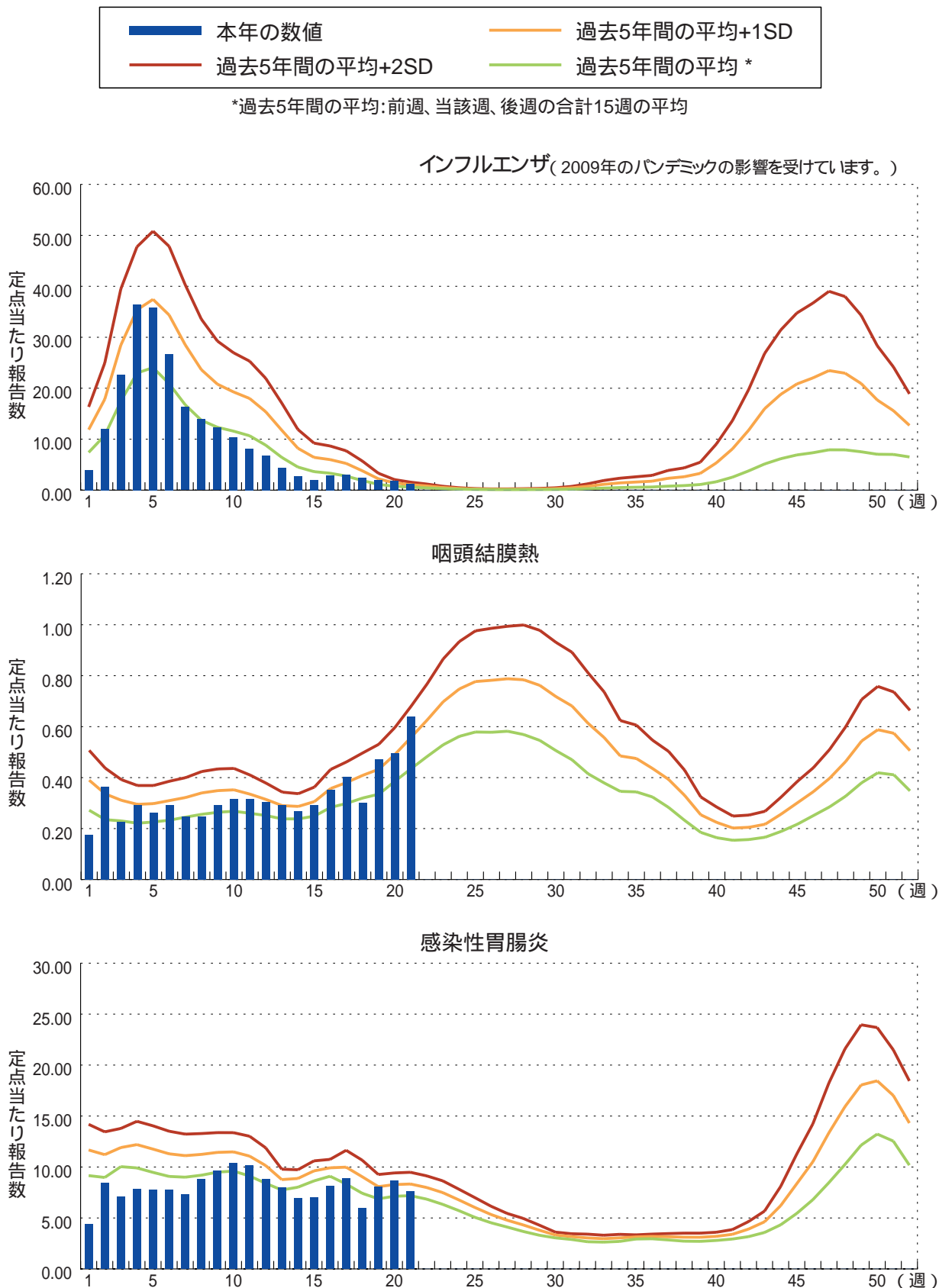
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では秋田県(1.40)、佐賀県(0.78)、岩手県(0.73)、福井県(0.73)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では福島県(2.71)、青森県(1.83)、佐賀県(1.83)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2013年第21週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>)からの引用です。

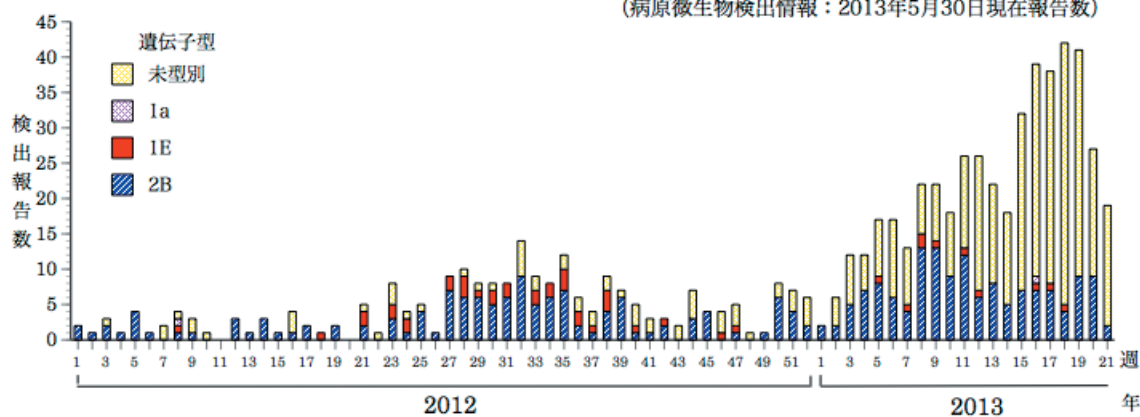
国立感染症研究所・感染症疫学センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2013年5月30日現在報告分)

風疹ウイルス 2012 ~ 2013年

週別風疹ウイルス分離・検出報告数、2012年第1週 ~ 2013年第21週

(病原微生物検出情報：2013年5月30日現在報告数)



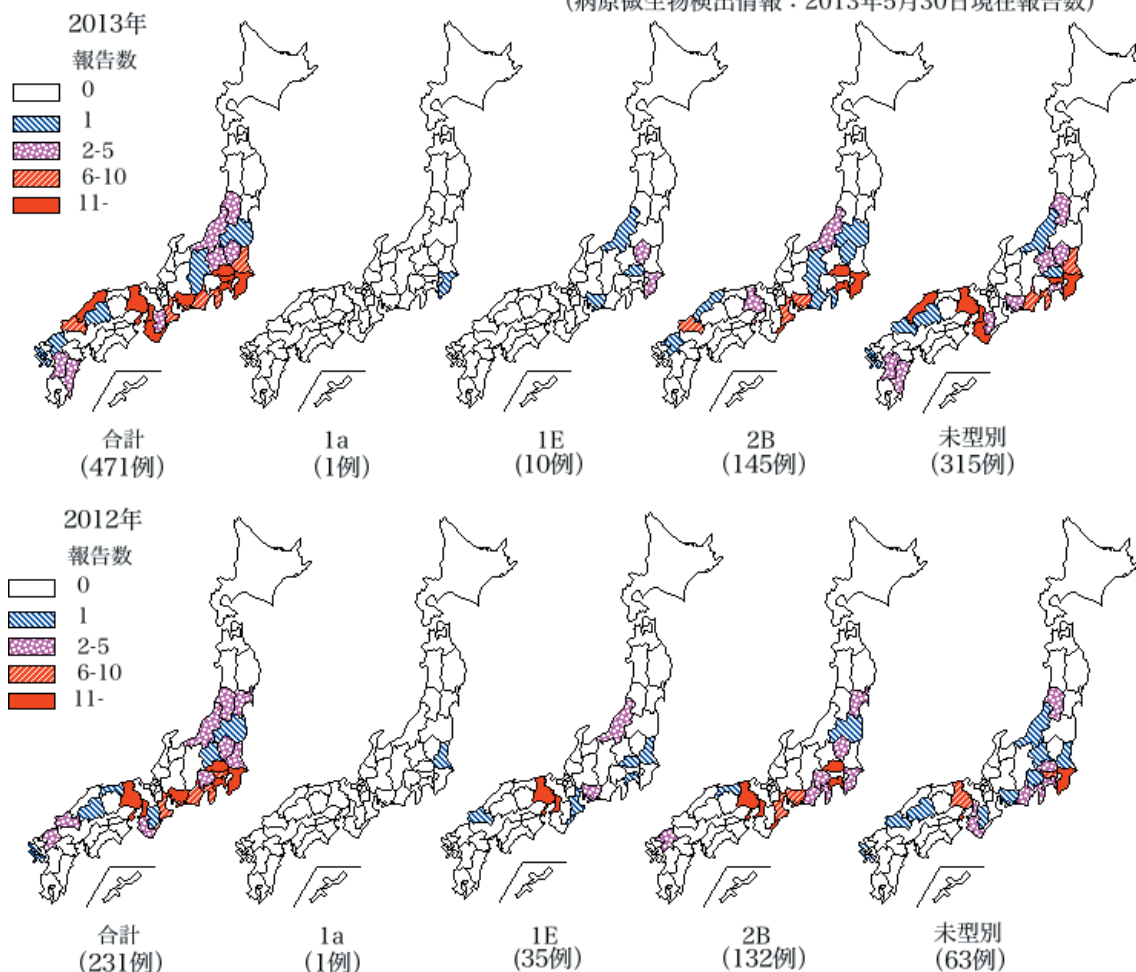
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



2013年に入り風疹ウイルスの分離・検出報告数が急増している。

都道府県別風疹ウイルス分離・検出報告状況、2012年&2013年

(病原微生物検出情報：2013年5月30日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

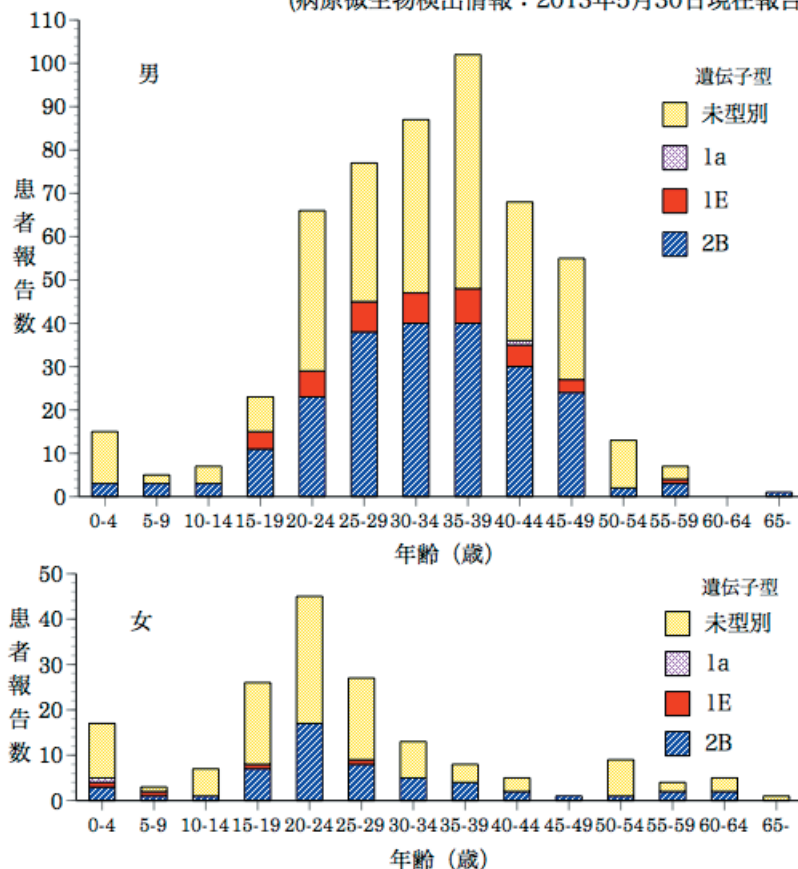


2012年(第1週 ~ 第52週)は兵庫県54件、神奈川県34件、大阪府32件、千葉県26件、埼玉県18件、愛知県12件、東京都10件、三重県9件、静岡県7件など24都府県から231件の風疹ウイルスの分離・検出が報告されている。遺伝子型別まで実施された168件では、2B型が132件と最も多く、1E型が35件で、1a型(ワクチンタイプ)1件はMRワクチン接種者から検出されている。

2013年は第1週 ~ 第21週までに大阪府159件、千葉県94件、神奈川県45件、東京都28件、和歌山県24件、兵庫県17件、埼玉県14件、島根県12件など25都府県から471件報告されている。遺伝子型別まで実施された156件では、2B型が145件と最も多く、1E型が10件で、1a型1件がMRワクチン接種者から検出されている。

麻疹疑い例の検査診断で、麻疹ウイルスが検出されず、風疹ウイルスが検出された例(IASR 34: 96-98, 2013)も多く含まれている。また、急性脳炎患者1例(2B型)(IASR 33: 305-308, 2012)と先天性風疹症候群(CRS)患児6例(2B型3例、遺伝子型不明3例)(IASR 34: 95-96, 2013)からの検出も報告されている。また、タイから帰国後に風疹を発病した患者1例(2B型)からの検出も報告されている。

風疹ウイルス分離・検出例の性別年齢分布, 2012年第1週~2013年第21週
(病原微生物検出情報: 2013年5月30日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

風疹ウイルスの分離・検出例は男性が多く、特に30代を中心に20~40代男性が多い。女性では15~29歳が多い。

風疹ウイルス分離・検出速報は <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-rubella.html> を参照ください。



海外感染症情報

*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

新種のコロナウイルス感染症について(更新17)

2013年5月22日 WHO(GAR)

5月22日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、チュニジア保健省は、新種のコロナウイルス(nCoV)に感染した確定患者が2人と疑い患者1人が発生したとWHOに報告しました。

この2人の確定患者は、34歳の男性と35歳の女性で姉弟です。2人とも軽い呼吸器症状であり、入院は必要ありませんでした。この症例の遡及調査により、疑い患者が明らかになりました。この姉弟の66歳の父親が、カタールとサウジアラビアを訪問し5月3日に帰国してから3日後に発症しました。この父親は、急性呼吸器症状を発症し入院しました。父親の状態は悪化し、5月10日に死亡しました。父親には基礎疾患があり、初期の臨床検査でnCoVは陰性でした。

この流行のさらなる調査が続けられており、この家族との濃厚接触者は、病気の異常な兆候がないか注意深く観察されています。これらはチュニジアで初めてnCoV感染が確定した症例です。

サウジアラビアでは、今年4月の初めから医療機関で発生した集団感染の調査が進められている中で報告されていた患者1名が死亡しました。サウジアラビア東部での集団感染では、これまでに22人の患者が報告され、このうち10人が死亡したと報告されています。政府は、この集団感染の調査を進めています。

全体として、昨年9月からこれまでに、nCoVの感染が検査で確定されWHOに報告された患者は43人で、このうち21人が死亡しました。中東の複数の国(ヨルダン、カタール、サウジアラビア、アラブ首長国連邦)で感染が起きている。症例報告は、この他4つの国(フランス、ドイツ、チュニジア、英国)からも出ています。全ての症例において、中東と直接的または間接的な関係があり、このうち2件の症例では、直近でアラブ首長国連邦への渡航歴がありました。フランスと英国では、中東への渡航歴がなく、最近中東から帰国した渡航者の濃厚接触者の中で限定的な地域内感染がみられました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症(SARI)のサーベイランスを継続し、通常でないパターンの症例を慎重に検討するよう推奨しています。

医療従事者は、最近、ウイルス感染の発生した地域から帰国し、SARIを起こした患者には、現在のサーベイランス推奨にあるようnCoVの検査をすべきです。可能であれば、診断のために患者の下気道からの検体を採取すべきです。また、臨床医は、特に免疫不全患者では、下痢のような非特異的な症状・所見がみられた場合でも、nCoVへの感染を考慮すべきです。

医療機関では、感染予防・制御(ICP)を総合的に実施する重要性を再認識すべきです。

nCoVの感染が疑われる患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。

WHOは、すべての加盟国に対し、nCoVの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは引き続き、状況を注視しています。

アフリカの角(つの)地域でポリオ(野生型ポリオウイルス)が発生しています

2013年5月22日 WHO(GAR)

5月22日付で世界保健機関(WHO)から公表された情報によりますと、アフリカの角(つの)地域では現在、野生型ポリオウイルス1型(WPV1)の流行が起っています。2013年4月30日ケニアのダダブ近くで4ヶ月の女児が急性弛緩性麻痺(AFP)を発症しました。この児と接触のあった健康な2名でWPV1が陽性になりました。ケニアでは2011年7月以来、検査で確定された初めての症例です。この発生に関して調査が継続されています。さらに2013年5月9日に、ソマリアのバナディールでWPV1の症例が確認されました。

ソマリアでは、この発生を受けて440,000人の小児を対象にした初めてのワクチンキャンペーンが2013年5月14日に開始され、2回目のワクチン接種がケニアの発生地域と同調し2013年5月26日に計画されています。

アフリカの角地域では大規模な人口の集団移動が見られ、またいくつかの地域では持続的なワクチン未接種があるため、隣接する国々のリスクは非常に高いと考えられます。ダダブには大きな難民キャンプがあり、アフリカの角全域からの難民500,000人近くが住んでいます。

アフリカの角地域の全ての国に対し、ポリオサーベイランスを強化するよう警報が発出され、疑い症例の積極的な調査の必要性が強調されています。全ての国は地方レベルのサーベイランスギャップを迅速に検出し、そのギャップを補填する措置を講ずるよう要請されます。

2005年に、ポリオはアフリカ大陸から東へ拡大し、イエメンに入り、アフリカの角地域へ広がり700例以上の患者が発生しました。それ以後、発生への国際的対応が取られ、また新しい単価、2価の経口ポリオ生ワクチンが開発され、ポリオ流行は深刻さと期間を著しく減らすことができました。

ソマリアのある地域(南部 - 中央)ではワクチン由来ポリオウイルス2型(cVDPV2)による患者発生も見られ、2009年以来ソマリアでは18名の患者が出ています。2012年にはこの株がダダブへ広がり3名の患者が発生しました。

WHO国際渡航と健康(ITH)は、ポリオ感染地域へ出かける渡航者全て、感染地域からの渡航者全てに対しポリオワクチンの確実な接種を推奨します。

中東で発生している新種のコロナウイルス感染症について(更新18)

2013年5月23日 WHO(GAR)

5月23日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、サウジアラビア保健省は、中東で発生している新種のコロナウイルスであるMERS(マーズ)コロナウイルスに感染した確定患者が新たに1人発生したとWHOに報告しました。

この患者は63歳の男性で、基礎疾患(持病)があり、5月15日に急性呼吸窮迫症候群で病院に入院し、20日に死亡しました。患者は、サウジアラビア中部のアル・カシム(Al-Qaseem)で報告され、東部のアル・アフサ(Al-Ahsa)で報告された集団感染との関連はありません。患者の接触者の調査が進められています。

サウジアラビアの当局は、今年4月の初めから、アル・アフサの医療機関で発生した集団感染の調査を進めています。これまでに、この集団感染による患者は22人で、このうち10人が死亡したと報告されています。

全体として、昨年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスの確定患者は44人で、このうち22人が死亡しました。

WHOは、中東のヨルダン、カタール、サウジアラビア、アラブ首長国連邦から確定患者の報告を受けました。フランス、ドイツ、チュニジア、英国からも患者の発生報告があり、中東から治療のために搬送された患者や、中東から帰国した後に発症した患者です。フランス、チュニジア、英国では、中東への渡航歴がなく、確定患者や疑い患者の濃厚接触者に限定的な地域内感染がみられました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症(SARI)のサーベイランスを継続し、通常でないパターンの症例を慎重に検討するよう推奨しています。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症した患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの検査をすべきです。可能であれば、診断のために患者の下気道からの検体を採取すべきです。また、臨床医は、免疫不全患者では、下痢のような非特異的な症状・所見がみられた場合でも、MERSコロナウイルスへの感染を考慮すべきです。

医療機関では、感染予防・制御を総合的に実施する重要性を再認識すべきです。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。

WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは引き続き、状況を注視しています。

世界におけるインフルエンザ流行状況

2013年5月24日 WHO

【要約】

- ・北半球の温帯地域におけるインフルエンザの活動性は低い水準に低下していますが、カナダとエジプトを含むいくつかの地域で伝播が続いています。
- ・熱帯地域でのインフルエンザの活動性は様々ですが、前週と同様の傾向です。マダガスカルでは4月の下旬から流行が報告されています。
- ・南半球のインフルエンザ活動性は南アフリカでわずかな増加が報告されていますが低いレベルです。
- ・H7N9に関する情報はWHOのウェブサイトを参照して下さい。
- ・北半球におけるインフルエンザシーズンのインフルエンザ活動性のまとめは5月31日付発行予定のWHOの疫学週報(World Epidemiological Report)に掲載される予定です。

【北半球の温帯地域】

北半球温帯地域でのインフルエンザ活動性は低い水準まで低下しましたが、一部8地域の

数ヶ国では続いています。

カナダではインフルエンザB型がシーズンの終盤から循環し始めたためシーズンが延長していましたが5月上旬からはB型の伝播は減少傾向にあります。インフルエンザに関連した入院も多数報告されており、ほとんど全てがインフルエンザB型に関連したものでした。

米国、ヨーロッパ、北アジアでの伝播はシーズンオフの水準に戻りました。北アフリカでは、インフルエンザB型とインフルエンザA(H1N1)pdm09の両ウイルスの伝播が4月上旬にピークに達し5月上旬には低水準での伝播が報告されました。

北半球2012-13インフルエンザシーズンのまとめは5月31日付のWHO疫学週報に掲載されます。

【熱帯地域】

・ アメリカ大陸の熱帯地域(中米、カリブ海諸国)

中米、カリブ海諸国と南米の熱帯地域のインフルエンザの活動性は同様であり、主にインフルエンザA(H1N1)pdm09によるものです。ブラジルでのインフルエンザ活動性は全体的に減少しましたが、主にインフルエンザA(H1N1)pdm09によるSARI(重症急性呼吸器感染症)症例が南部地域を中心に増加しました。対照的にエクアドルではインフルエンザA(H3N2)の活動性が減少したと報告されました。

・ 中部アフリカ

中部アフリカ熱帯地域のわずかな国で、過去数週間にわたって3種類のウイルス型が様々な割合で低水準での伝播が継続していると報告されました。マダガスカルでは4月上旬からインフルエンザ伝播が増加しており、インフルエンザA(H1N1)pdm09が最も高い割合で報告されました。

・ アジアの熱帯地域

南アジアのインフルエンザ伝播は前週と同様に3種類のウイルス型が混在していました。インドでの伝播は3月下旬にピークに達したようで、主としてインフルエンザA(H1N1)pdm09と、わずかに少ないA(H3N2)とインフルエンザB型ウイルスによるものでした。スリランカでのインフルエンザの活動性は、今シーズンを通して高い水準でありインフルエンザB型とインフルエンザA(H1N1)pdm09によるものでした。中国南部のインフルエンザ伝播は3月中旬にピークに達しほとんどがインフルエンザA(H1N1)pdm09によるものでした。

【南半球の温帯地域】

南アフリカは、最近インフルエンザ陽性となる検体の割合が増加しているようで、第19週には37.5%の検体でインフルエンザ陽性であり、インフルエンザシーズンが始まったことを示唆しています。そのほとんどがインフルエンザA(H1N1)pdm09です。第18週、第19週で、インフルエンザB型はほとんどなくインフルエンザA(H3N2)は1検体でした。

オーストラリア、ニュージーランドや太平洋諸島では、ILI活動性は低いままで、インフルエンザ陽性の検体はほとんどありませんでした。オーストラリアでは5月5日から11日までにILI208検体のうち1検体がインフルエンザA(H1N1)pdm09、1検体がインフルエンザBに陽性でした。ニュージーランドでは2013年5月5日から12日までインフルエンザの活動性は低いままで基準値に達していません。149検体のうち7検体がインフルエンザ陽性で、そのうち3検体でインフルエンザB、2検体でインフルエンザA(H3N2)、1検体でインフルエンザA/Perth/16/2009(H3N2)、1検体でインフルエンザ亜型不明が検出されました。

鳥インフルエンザA(H7N9)の患者が発生しています(更新27)

2013年5月29日 WHO(GAR)

5月29日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、中国の国家衛生・計画生産委員会は新たに鳥インフルエンザA(H7N9)に感染した患者が1人発生したとWHOに報告しました。

この患者は北京市の6歳の男児で、5月21日に発症しましたが、容態は安定しています。

これまでに、鳥インフルエンザA(H7N9)に感染したと確定された患者は132人で、このうち37人が死亡したとWHOに報告されています。

患者が発生した地域の当局は、この疾患の予防と感染拡大防止対策のほか、サーベイランス、疫学調査、濃厚接触者の追跡調査、臨床管理、検査診断、検体の共有を継続しています。市と省は、緊急態勢を通常の状態に戻し、通常のサーベイランスと対応を行うこととしました。

現時点では、人から人に感染が続いているという根拠はありません。

感染源が確認され、制御されるまでは、今後もこのウイルスに感染した患者が発生すると予想されます。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは、加盟国や国際的な関係機関と連携し、状況を注視し続けています。WHOは状況に進展があれば、情報を更新する予定です。

中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について(更新19)

2013年5月29日 WHO(GAR)

5月29日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、サウジアラビア保健省は、中東で発生している新種のコロナウイルスであるMERS(マーズ)コロナウイルスに感染した確定患者が新たに5人発生したとWHOに報告しました。

5人の患者は、いずれも東部地域で報告されましたが、今年の4月に医療機関での集団感染が始まったアル・アフサ(Al-Ahsa)からの報告ではありません。患者には基礎疾患(持病)があり、複数の医療機関を受診する必要がありました。政府は、医療機関と地域で感染源の調査を実施しています。

5人の患者に関する情報は下記の通りです。

- ・ 56歳の男性。基礎疾患があり、5月12日に発症し、5月20日に死亡しました。
- ・ 85歳の女性。基礎疾患があり、5月17日に発症し、現在危篤状態です。
- ・ 76歳の女性。基礎疾患があり、5月24日に発症し、5月27日に退院しました。
- ・ 77歳の男性。基礎疾患があり、5月19日に発症し、5月26日に死亡しました。
- ・ 73歳の男性。基礎疾患があり、5月18日に発症し、5月26日に死亡しました。

さらに、以前にアル・アフサから報告された81歳の女性が死亡しました。政府は、国内でのアウトブレイクの調査を継続しています。

フランスでは、アラブ首長国連邦への渡航歴がある、国内における最初の確定患者が死亡しました。

全体として、昨年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者は49人で、このうち27人が死亡しました。

WHOは、中東のヨルダン、カタール、サウジアラビア、アラブ首長国連邦から確定患者の報告

を受けました。フランス、ドイツ、チュニジア、英国からも患者の発生報告があり、中東から治療のために搬送された患者や、中東から帰国した後に発症した患者です。フランス、チュニジア、英国では、中東への渡航歴がなく、確定患者や疑い患者の濃厚接触者に限定的な地域内感染がみられました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症(SARI)のサーベイランスを継続し、通常でないパターンの症例を慎重に検討するよう推奨しています。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症した患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの検査をすべきです。可能であれば、診断のために患者の下気道からの検体を採取すべきです。また、臨床医は、免疫不全患者では、下痢のような非特異的な症状・所見がみられた場合でも、MERSコロナウイルスの感染を考慮すべきです。

医療機関では、感染予防・制御を総合的に実施する重要性を再認識すべきです。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。

WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは引き続き、状況を注視しています。

中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について(更新20)

2013年5月31日 WHO(GAR)

5月31日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、サウジアラビア保健省は、中東で発生している新種のコロナウイルスであるMERS(マーズ)コロナウイルスに感染した確定患者が新たに1人発生したとWHOに報告しました。

この患者は61歳の男性で、基礎疾患(持病)があり、5月20日に発症しました。この患者は、アル・アフサ(Al-Ahsa)から報告されています。また、以前にアル・アフサから報告された患者3人が死亡しました。

政府は、国内でのアウトブレイクの調査を継続しています。

全体として、昨年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者は50人で、このうち30人が死亡しました。

WHOは、中東のヨルダン、カタール、サウジアラビア、アラブ首長国連邦から確定患者の報告を受けました。また、フランス、ドイツ、チュニジア、英国からも患者の発生報告があり、中東から治療のために搬送された患者や、中東から帰国した後に発症した患者です。フランス、チュニジア、英国では、中東への渡航歴がなく、確定患者や疑い患者の濃厚接触者に限定的な地域内感染がみられました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染

症(SARI)のサーベイランスを継続し、通常でないパターンの症例を慎重に検討するよう推奨しています。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症した患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの検査をすべきです。可能であれば、診断のために患者の下気道からの検体を採取すべきです。また、臨床医は、免疫不全患者では、下痢のような非特異的な症状・所見がみられた場合でも、MERSコロナウイルスの感染を考慮すべきです。

医療機関では、感染予防・制御を総合的に実施する重要性を再認識すべきです。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。

WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは引き続き、状況を注視しています。

エチオピアで黄熱の患者が発生しました

2013年5月31日 WHO(GAR)

5月31日付で世界保健機関(WHO)から公表された情報によりますと、エチオピア保健省は6月10日から黄熱の集団予防接種キャンペーンを緊急に実施する予定です。これは、5月7日に6人の黄熱患者が確定されたことへの対応です。

このキャンペーンは南部諸民族州の6地域(南アリ、北アリ、南オモのジンカ市など)の52万7,000人以上を対象としています。

黄熱ワクチンの提供に関する国際調整グループ(YF-ICG)は、GAVIアライアンスや他の関係機関の支援を受け、エチオピア保健省が行う集団予防接種キャンペーンのため、58万5,800回分以上の黄熱ワクチンを提供する予定です。WHOは、チャド保健省、黄熱ワクチンの提供に関する国際調整グループ(YF-ICG)、GAVIアライアンスによって支援されています。WHOは、アウトブレイクの調査、患者管理対応の向上、アウトブレイクを管理するための資源の動員、現地での感染拡大防止対応のモニタリングを緊密な支援を行っています。

6人の確定患者は南部諸民族州の南オモで発生しました。患者は、国の黄熱サーベイランス計画によって発見されました。初発患者は39歳の男性で、今年1月に発熱、黄疸(皮膚や眼の白い部分が黄色くなる)、出血傾向(出血しやすくなり、血が止まりにくくなる)がみられました。この患者は、IgM検査(抗体検査)で確定されました。鑑別診断として実施された他のフラビウイルスの検査は陰性でした。

確定診断は、WHOの黄熱の地域レファレンスセンターである、セネガルのダカールにあるパスツール研究所で行われました。

中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について(更新21)

2013年6月1日 WHO(GAR)

6月1日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、イタリア保健省は、欧州連合の早期警戒対応システムを通じて、国内居住者からMERS(マーズ)コロナウイルスに感染した確定患者が1人発生したとWHOに報告しました。

この患者は45歳の男性で、最近、ヨルダンに渡航していました。5月25日にイタリアへ帰国した時に咳と倦怠感(だるさ)がありました。体調が悪化し、5月28日に入院しましたが、現在の容態は安定しています。

検査はトスカナのインフルエンザ・レファレンス研究施設で行われ、高等保健研究所(Istituto Superiore di Sanità)にある国のインフルエンザセンターで確定されました。

全体として、昨年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者は51人で、このうち30人が死亡しました。

WHOは、中東のヨルダン、カタール、サウジアラビア、アラブ首長国連邦から確定患者の報告を受けました。また、フランス、ドイツ、イタリア、チュニジア、英国からも患者の発生報告があり、中東から治療のために搬送された患者や、中東から帰国した後に発症した患者です。フランス、チュニジア、英国では、中東への渡航歴がなく、確定患者や疑い患者の濃厚接触者に限定的な地域内感染がみられました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症(SARI)のサーベイランスを継続し、通常でないパターンの症例を慎重に検討するよう推奨しています。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症した患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの検査をすべきです。可能であれば、診断のために患者の下気道からの検体を採取すべきです。また、臨床医は、免疫不全患者では、下痢のような非特異的な症状・所見がみられた場合でも、MERSコロナウイルスの感染を考慮すべきです。

医療機関では、感染予防・制御を総合的に実施する重要性を再認識すべきです。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。

WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは引き続き、状況を注視しています。

中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について(更新22)

2013年6月2日 WHO(GAR)

6月2日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、イタリア保健省は、欧州連合の早期警戒対応システムを通じて、国内居住者からMERS(マーズ)コロナウイルスに感染した

確定患者が新たに2人発生したとWHOに報告しました。

患者はいずれも、最近ヨルダンに渡航した確定患者の濃厚接触者です。2歳の女兒と42歳の女性で、ともに容態は安定しています。

全体として、昨年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者は53人で、このうち30人が死亡しました。

WHOは、中東のヨルダン、カタール、サウジアラビア、アラブ首長国連邦から確定患者の報告を受けました。また、フランス、ドイツ、イタリア、チュニジア、英国からも患者の発生報告があり、中東から治療のために搬送された患者や、中東から帰国した後に発症した患者です。フランス、イタリア、チュニジア、英国では、中東への渡航歴がなく、確定患者や疑い患者の濃厚接触者に限定的な地域内感染がみられました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症(SARI)のサーベイランスを継続し、通常でないパターンの症例を慎重に検討するよう推奨しています。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症した患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの検査をすべきです。可能であれば、診断のために患者の下気道からの検体を採取すべきです。また、臨床医は、免疫不全患者では、下痢のような非特異的な症状・所見がみられた場合でも、MERSコロナウイルスの感染を考慮すべきです。

医療機関では、感染予防・制御を総合的に実施する重要性を再認識すべきです。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。

WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは引き続き、状況を注視しています。

イスラエルで、環境中の検体からポリオウイルスが検出されました

2013年6月3日 WHO(GAR)

6月3日付で世界保健機関(WHO)から公表された情報によりますと、イスラエル南部のラハト(Rahat)で、4月9日に採取された汚水検体から、野生株ポリオウイルス1型が分離されました。ウイルスは、汚水の中からのみ検出され、麻痺型ポリオの症例は報告されていません。ウイルスの起源を特定するため、遺伝子解析と疫学調査が進められています。暫定的な解析結果によれば、ウイルスの系統は現在アフリカの角(つの)地域で発生しているウイルスとの関連はありません。イスラエルでは、定期的に汚水を採取して検査することを含む環境のサーベイランスが行われており、このサーベイランスでウイルスが検出されました。イスラエルでは、1988年以降、野生株ポリオウイルスの国内伝播はありませんでした。過去に、1991年と2002年に環境中の検体から野生株ポリオウイルスが検出されましたが、麻痺型ポリオ患者は発生しませんでした。

野生株ポリオウイルスが検出されたことを受けて、イスラエルの保健当局は、完全な疫学調査、公衆衛生学的調査のほか、麻痺型ポリオ患者の可能性のある症例やポリオに対して免疫がない人の積極的な調査を行っています。定期の予防接種の接種率は94%と推計されています。調査結果によって、追加の予防接種活動の必要性が決定される予定です。ガザ地区とヨルダン川西岸地区の保健当局も同様の活動を行っています。両地区では、2002年以降、環境のサーベイランスで集められた検体は一貫して野生株ポリオウイルスは陰性でした。

この地域における予防接種率が高い水準であり、実施されている調査や対応を踏まえ、WHOは、イスラエル由来のウイルス系統が、さらに国際的に広がるリスクは低度から中程度と評価しています。

新たなポリオウイルスの輸入を迅速に検出し、速やかに対応するために、すべての国(特にポリオウイルスの感染が起こっている国と頻りに往来がある国)で急性弛緩性麻痺のサーベイランスを強化することが重要です。また、追加の予防接種が必要な地域間格差を確認するために、定期の予防接種の接種率も分析すべきです。これによって、新たなウイルスの輸入が最小限になります。輸入される危険性が高い地域と、3回の経口ポリオワクチンと3回の3種混合(ジフテリア、百日せき・破傷風)ワクチンの接種率が80%未満の地域を優先すべきです。

WHOの国際渡航と健康(International Travel and Health)は、ポリオの発生地域へ出かけるすべての渡航者と、感染地域からのすべての渡航者に対しポリオワクチンを規定の回数分接種することを推奨します。野生株ポリオウイルスの常在国は、ナイジェリア、パキスタン、アフガニスタンの3か国です。また、今年、アフリカの角地域で野生株ポリオウイルスの集団感染が発生し、ケニアとソマリアで合計6人の患者が確定されています。



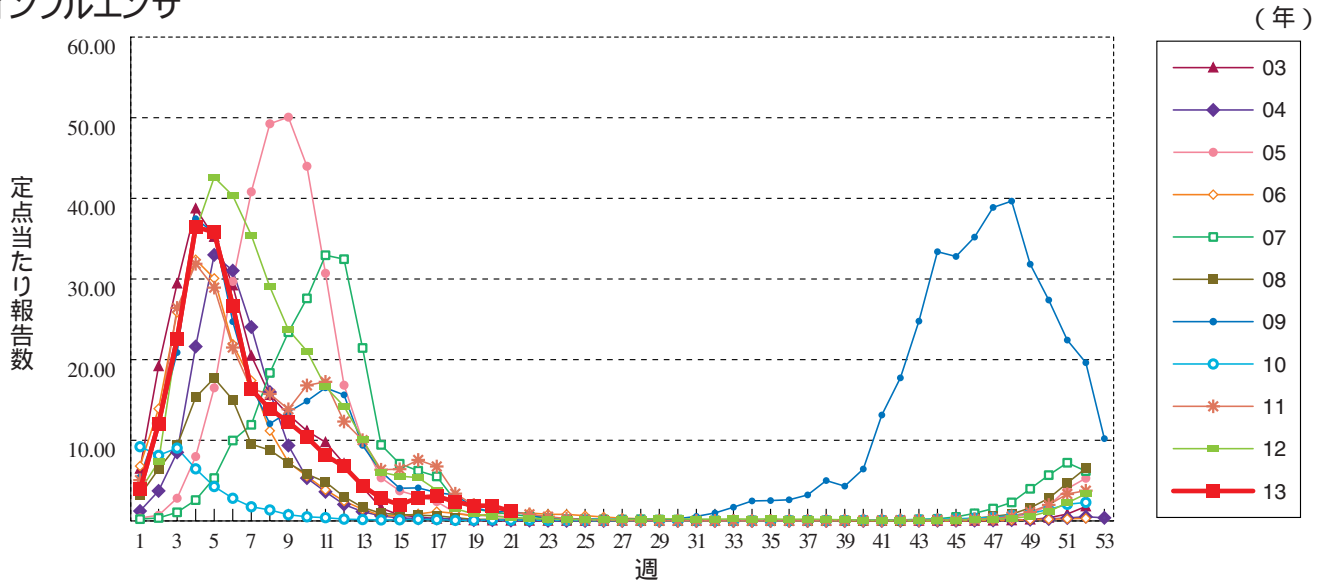
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia.html>
でご覧いただけます。

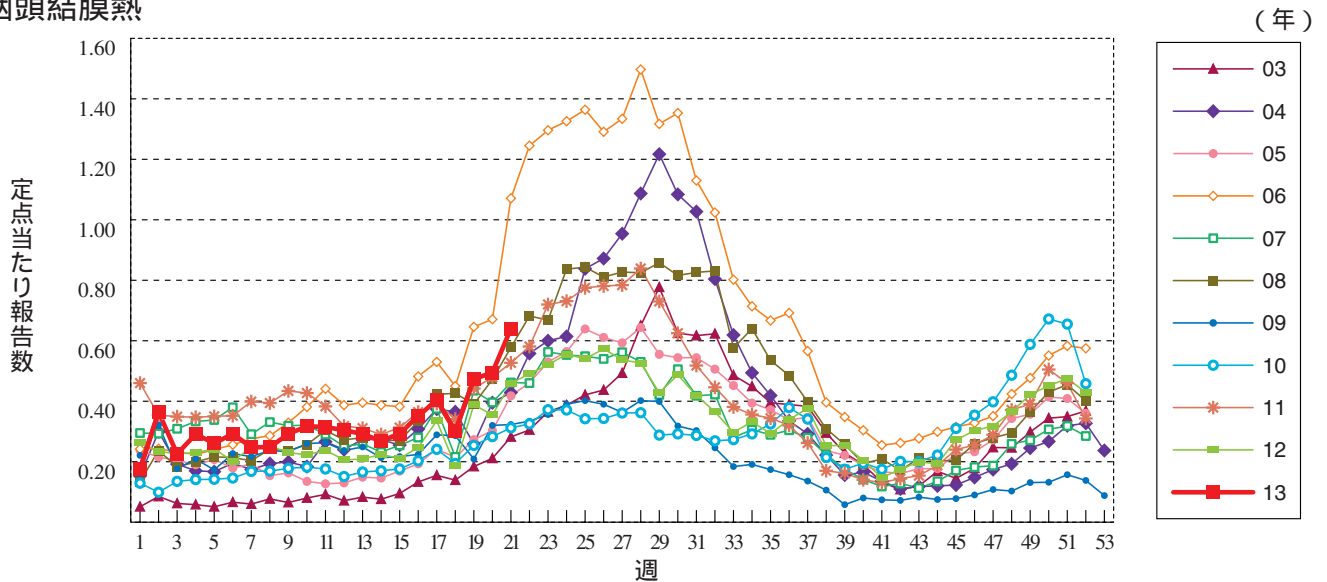


グラフ総覧(21週)

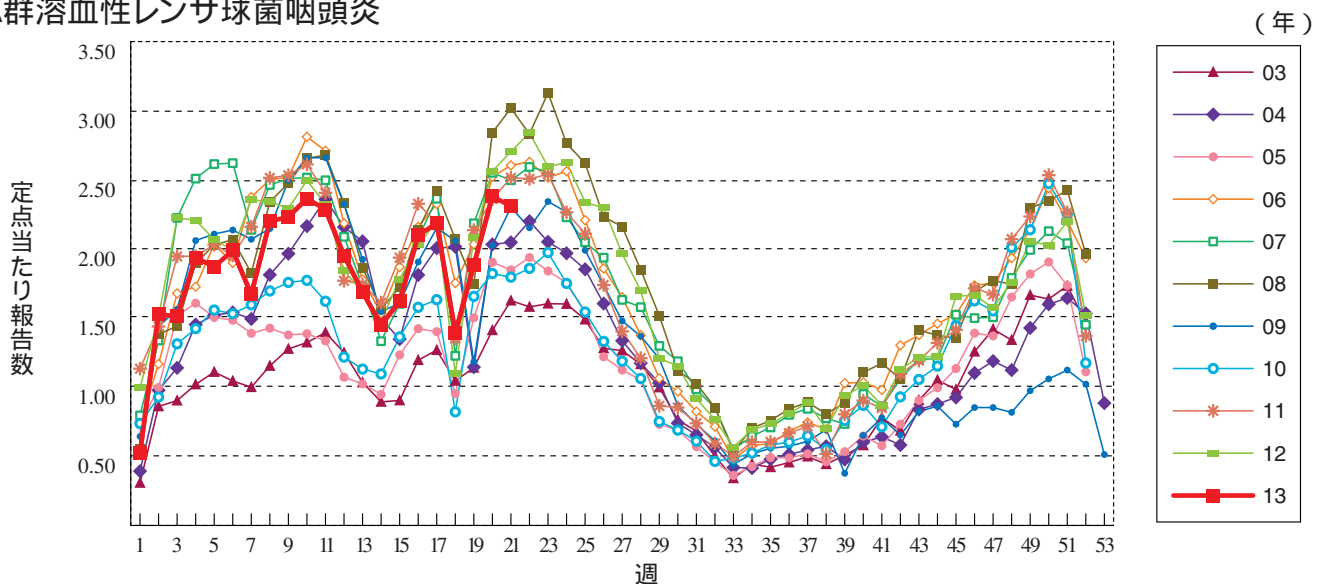
インフルエンザ



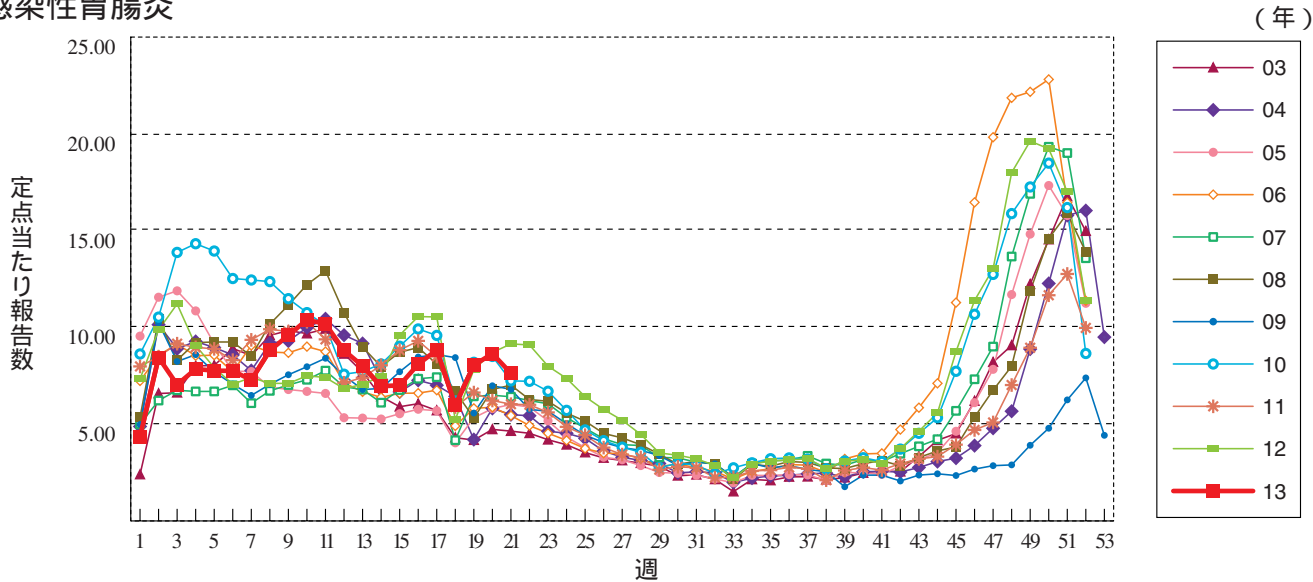
咽頭結膜熱



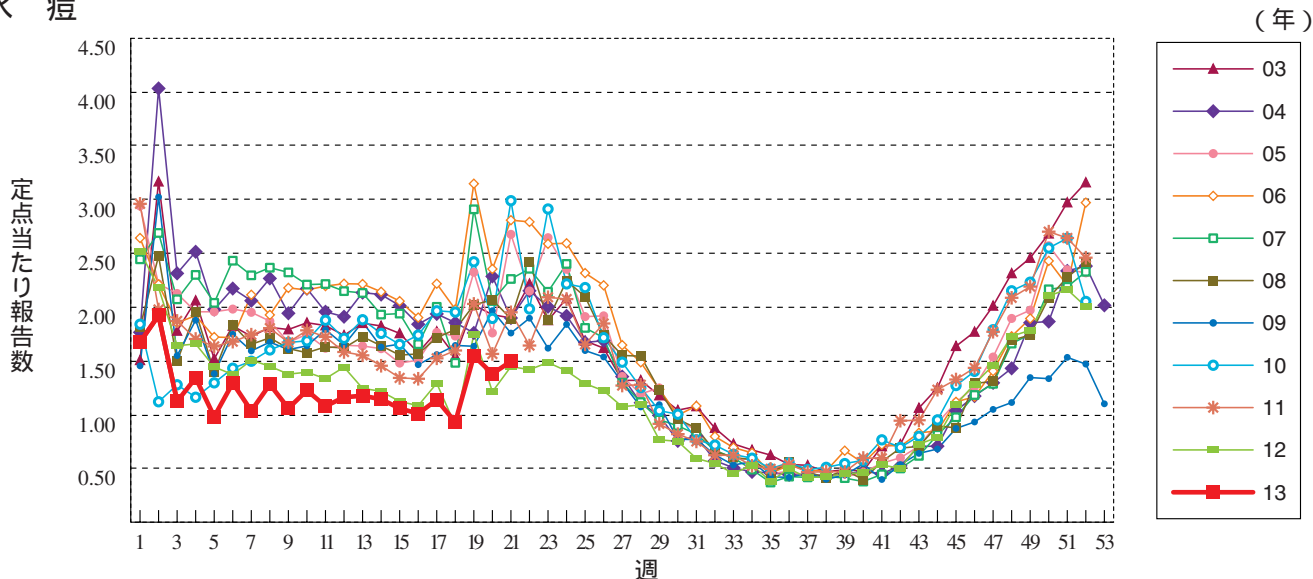
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



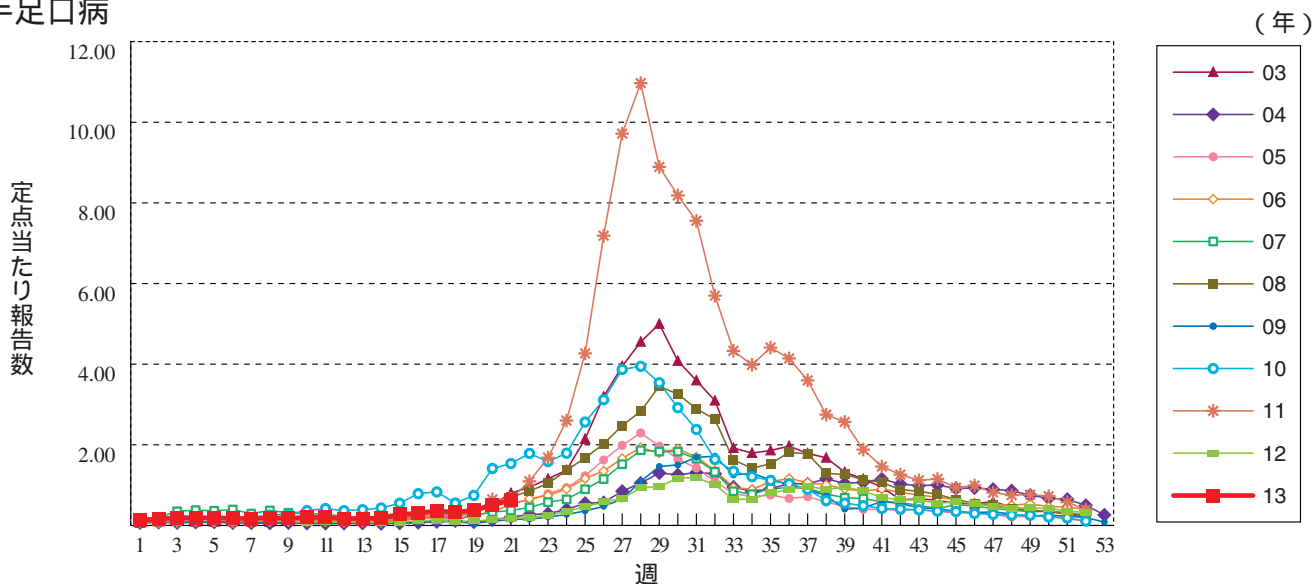
感染性胃腸炎



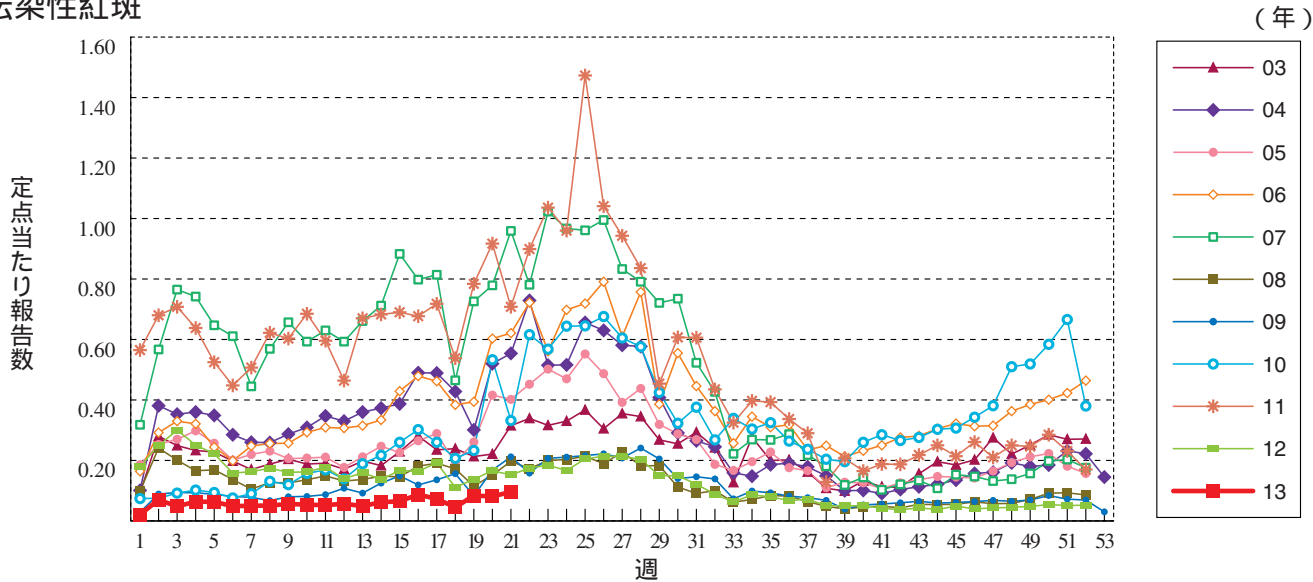
水痘



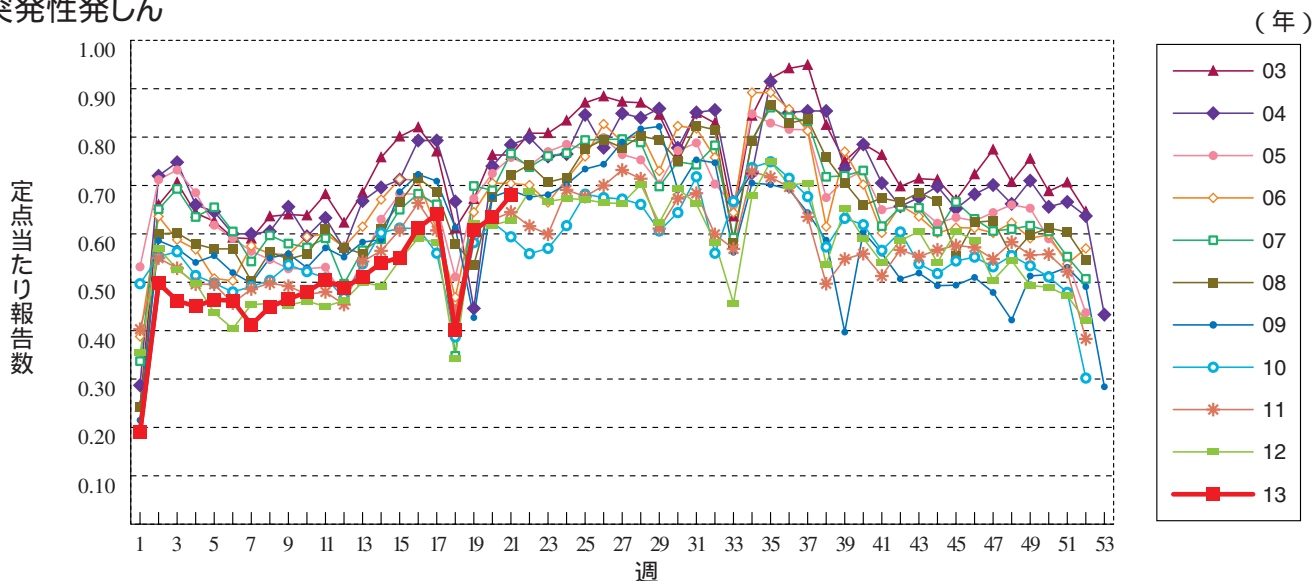
手足口病



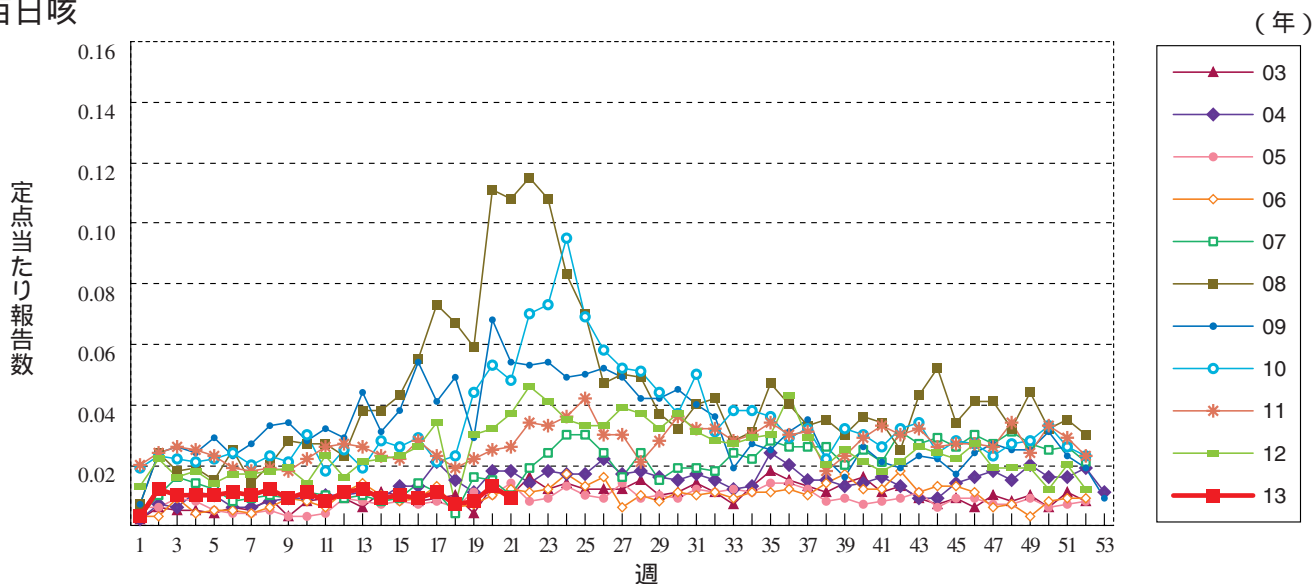
伝染性紅斑



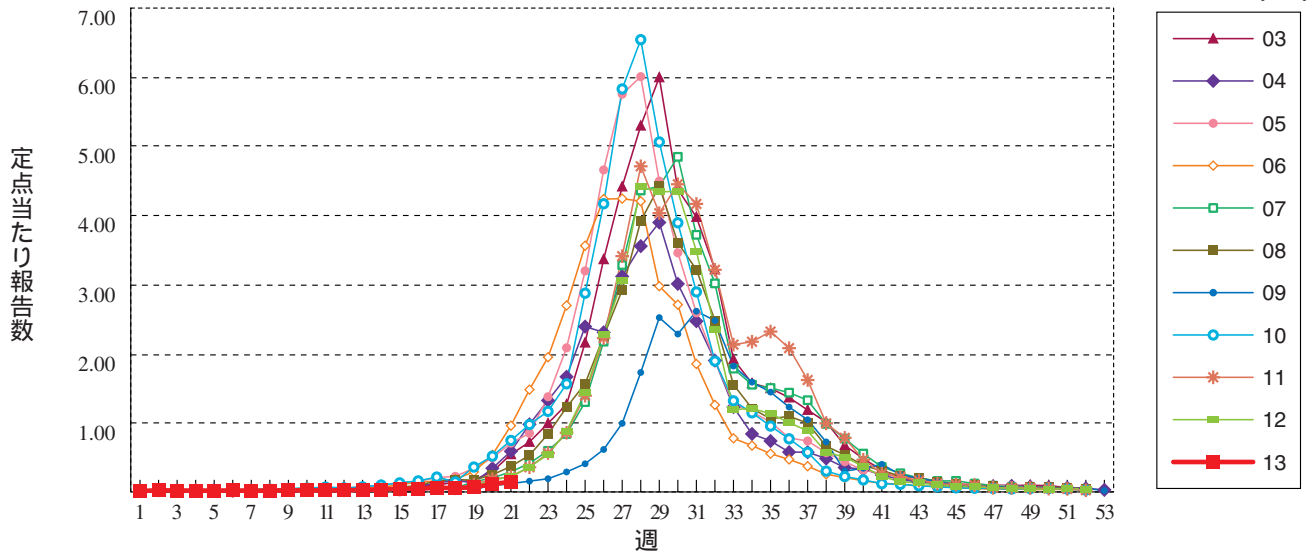
突発性発しん



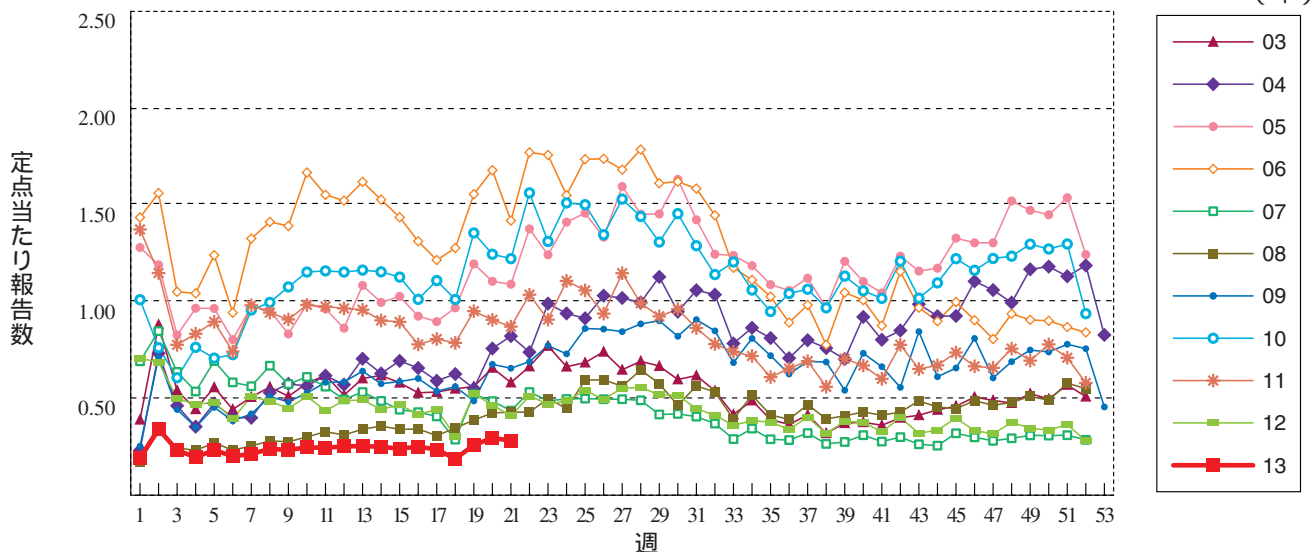
百日咳



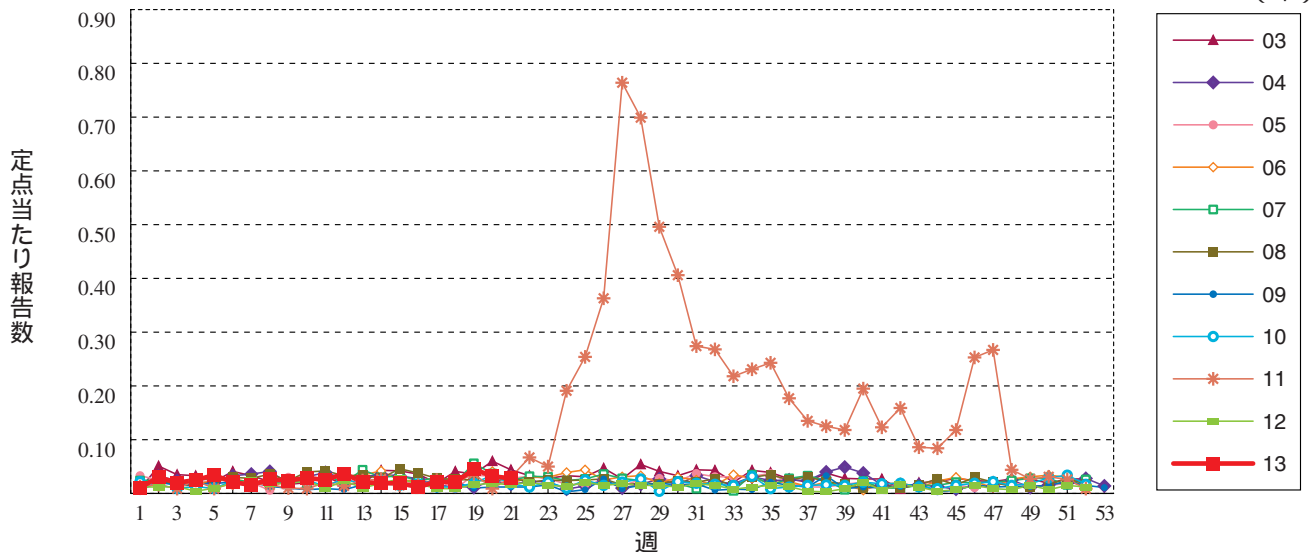
ヘルパンギーナ



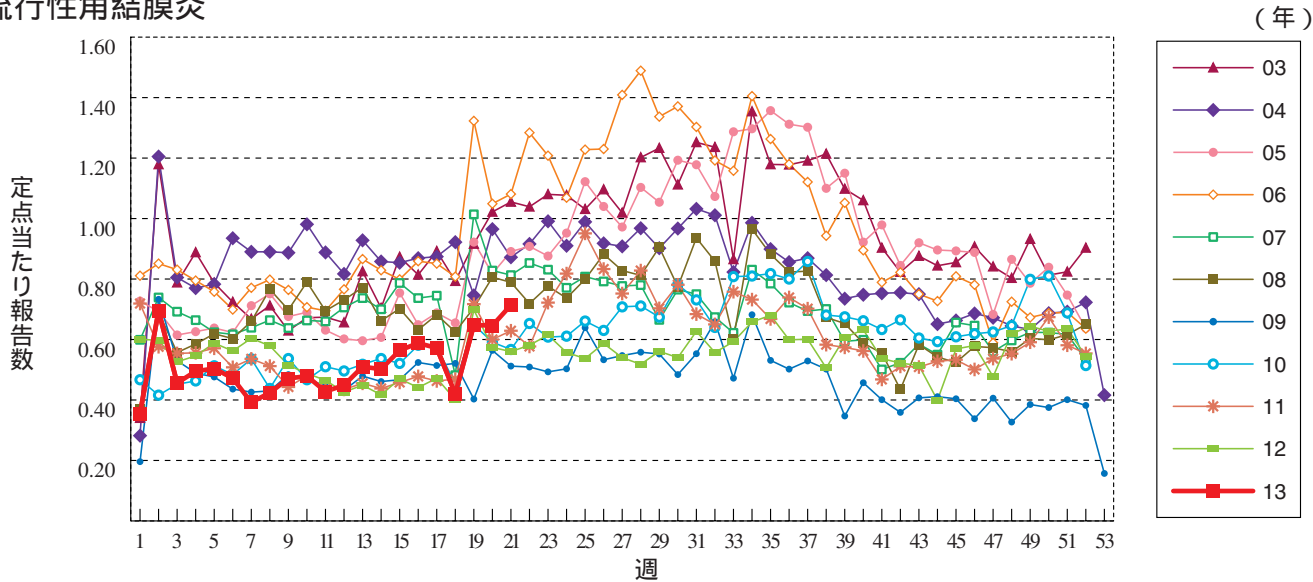
流行性耳下腺炎



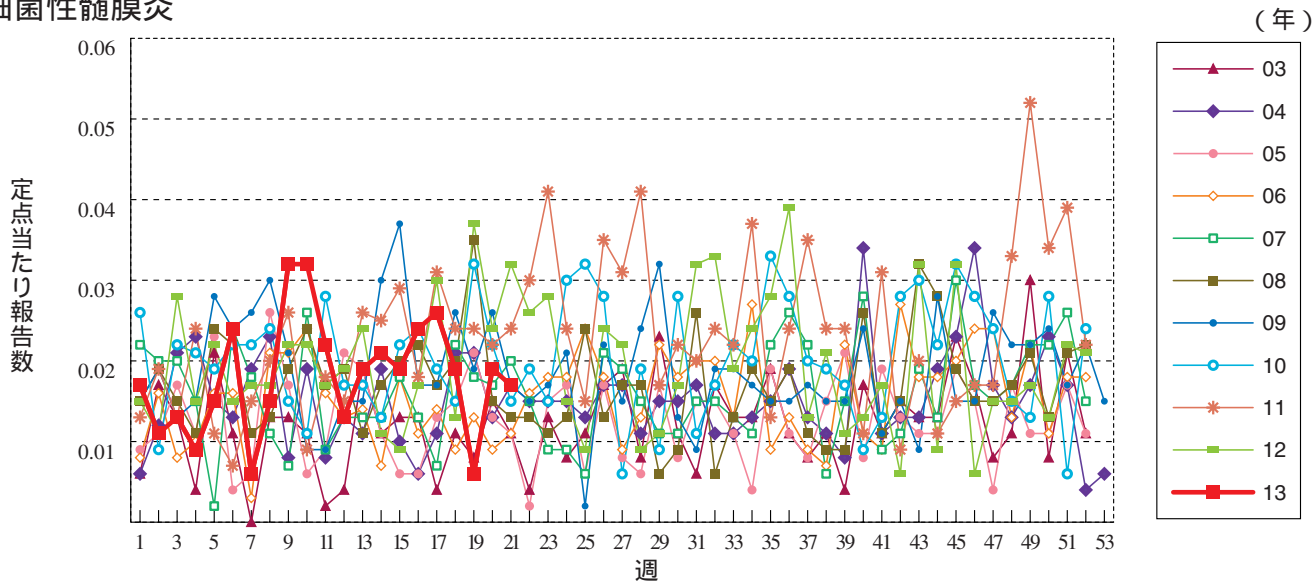
急性出血性結膜炎



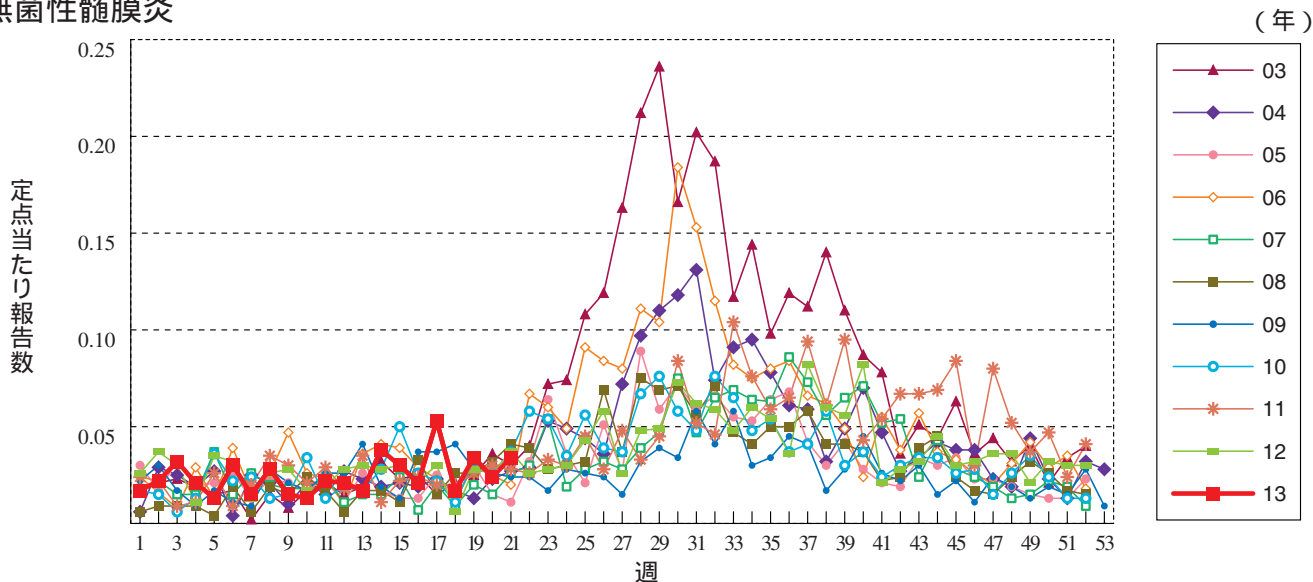
流行性角結膜炎



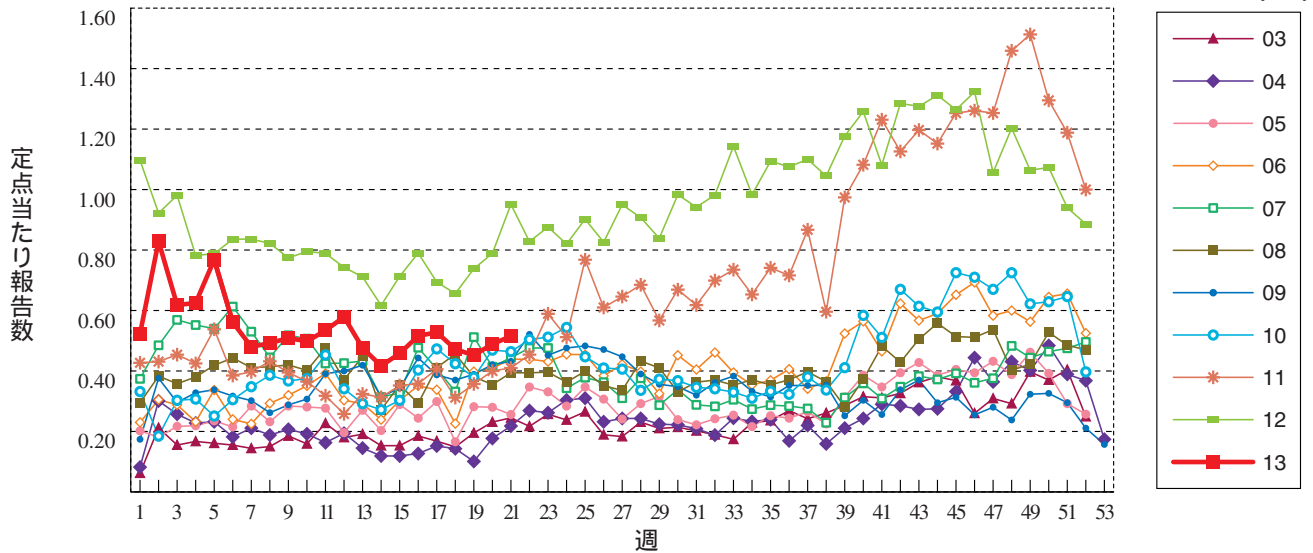
細菌性髄膜炎



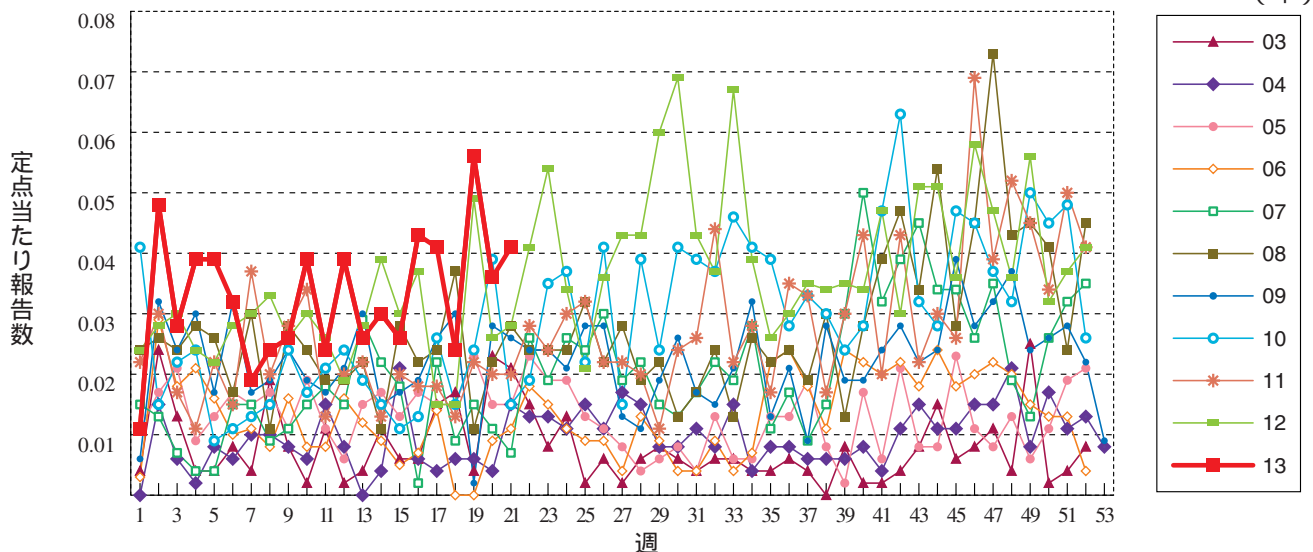
無菌性髄膜炎



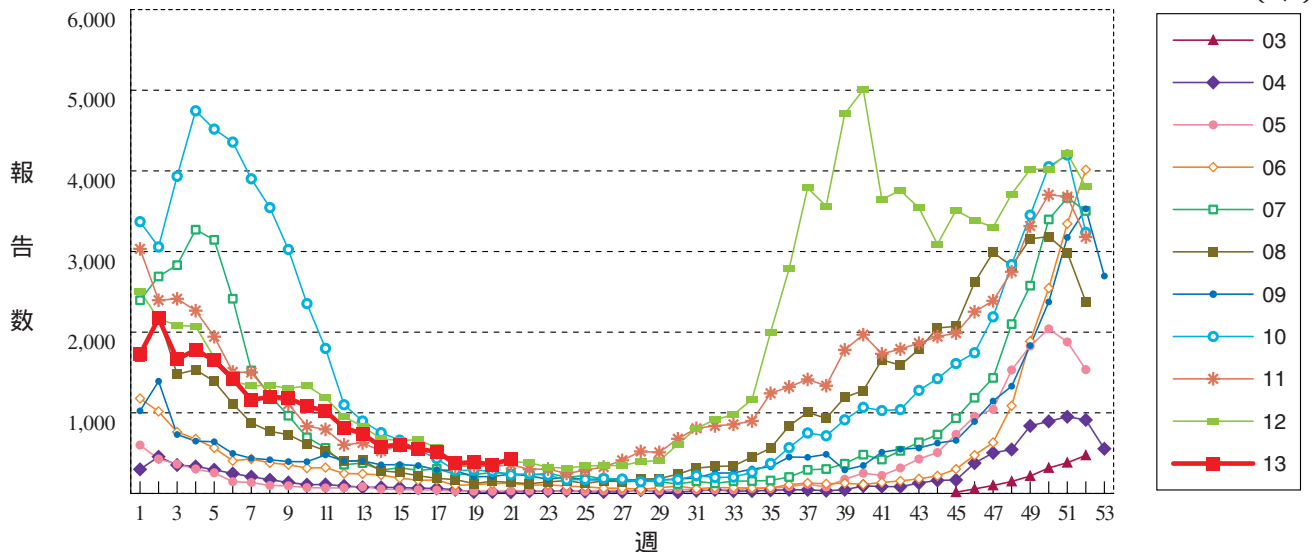
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





21週のデータ

注) 表中の報告数は5月29日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年21週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	366	9735
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	274
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	131
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	73
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	119
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	66
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	105
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	123
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	186
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	124
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	86
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	485
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	466
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62	1466
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	636
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	142
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	66
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	67
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	61
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	39
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	124
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	161
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	253
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	698
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	115
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	111
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	240
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	682
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	374
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	129
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	129
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	115
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	206
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	95
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	56
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	68
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	59
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	410
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	71
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	130
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	88
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	120
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	110
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	106
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	202

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年21週

	ジフテリア		重症急性呼吸器症候群*		鳥インフルエンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	1	3	49	37	325	1	27	4	28	2	51
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	10
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	1	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	5	-	-	-	-	1	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	9	-	1	-	-	-	1	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	5	7	-	-	-	1	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	16	-	2	-	1	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	11	3	28	-	13	4	13	-	-	15
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	4	18	1	3	-	3	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	15	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	8	-	-	-	1	-	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	13	-	1	-	2	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	5	-	2	-	1	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	9	-	-	-	1	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	19	-	3	-	1	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	1	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	3	31	-	1	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	4	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	12	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年21週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	2	64	-	7	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
神奈川県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*2013年3月4日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年21週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		重症熱性血小板 減少症候群*		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総数	-	-	-	3	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1及びH7N9 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年21週

	つつかが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	6	59	5	67	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	1	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	4	12	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年21週

	鼻 疽		ブルセラ症		ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	18	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年21週

	リッサウイルス感染症		リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	2	15	264	-	3	-	-	16	384	4	100	3	174
北海道	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	9	-	-	-	-	8
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	7	-	4	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	6	-	-	-	-	16
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-	10
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	12	-	2	2	15	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	3	30	-	1	1	12
東京都	-	-	-	-	-	1	1	22	-	-	-	-	1	81	2	28	-	22
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	15	-	1	-	-	4	42	1	10	-	5
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	6	-	1	-	-	9
富山県	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	4	-	2	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	9	-	2	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	11	-	3	-	-	6
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	18	-	-	-	-	1	21	-	5	-	17
三重県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	4	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	1	7	-	4	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	16	-	-	-	-	2	35	-	12	-	14
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	1	17	-	6	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	4	-	3	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	5	-	5	-	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	17	1	3	-	-	5
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	3	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	6	-	-	-	6	-	2	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	1	-	2	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1

*2013年4月1日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年21週

	クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		侵襲性インフルエンザ菌感染症*		侵襲性髄膜炎菌感染症*		侵襲性肺炎球菌感染症*		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	1	2	70	7	87	23	556	1	30	2	21	1	8	19	281	-	5
北海道	-	-	-	-	-	2	-	11	-	1	-	-	-	-	1	8	-	-
青森県	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
宮城県	-	-	4	-	2	1	6	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
秋田県	-	-	1	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
福島県	-	-	2	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	3	-	-
茨城県	-	-	1	1	3	1	6	-	-	-	1	-	-	-	1	12	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
群馬県	-	-	1	-	-	-	9	-	-	-	1	-	-	-	10	-	-	-
埼玉県	-	-	1	4	2	-	20	-	1	-	-	-	1	3	19	-	-	-
千葉県	-	-	1	-	4	4	29	-	3	-	-	-	-	-	14	-	-	-
東京都	-	1	-	5	14	8	168	1	10	-	4	-	3	2	29	-	1	
神奈川県	-	-	4	2	9	-	40	-	1	-	2	-	-	2	31	-	1	
新潟県	-	-	-	-	3	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
富山県	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-
石川県	-	-	3	-	2	1	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
福井県	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	1	2	7	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-
岐阜県	-	-	1	3	1	2	10	-	1	-	-	-	-	1	8	-	-	-
静岡県	-	-	3	-	3	-	22	-	1	-	-	-	-	-	7	-	-	-
愛知県	-	-	8	-	4	-	27	-	-	1	2	-	-	-	29	-	2	
三重県	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
滋賀県	-	-	1	-	1	-	7	-	-	1	2	-	-	-	2	-	-	-
京都府	-	-	1	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
大阪府	-	-	5	-	2	5	71	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	
兵庫県	-	-	4	2	9	1	20	-	2	-	2	-	-	-	9	-	-	-
奈良県	-	-	1	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-
和歌山県	-	-	3	-	-	-	6	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
岡山県	-	-	2	-	-	-	6	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-
広島県	-	-	3	-	1	-	14	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-
香川県	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
愛媛県	-	-	2	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	1	2	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福岡県	-	-	3	-	3	2	18	-	2	-	3	-	2	1	18	-	-	-
佐賀県	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-

*2013年5月6日より届出対象疾患となりました。

**髄膜炎菌性髄膜炎は2013年3月31日をもって届出対象疾患から外れ、以後は侵襲性髄膜炎菌感染症に含まれることになります。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年21週

	梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		風しん		麻しん		鳥インフル エンザ(H7N9)*		髄膜炎菌性 髄膜炎**	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	20	423	2	40	-	-	-	26	673	8507	9	138	-	-	-	2
北海道	-	12	-	2	-	-	-	1	-	55	-	1	-	-	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	16	-	1	-	-	-	-	2	51	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	3	10	-	-	-	-	-	-
福島県	-	6	-	2	-	-	-	-	3	19	-	1	-	-	-	-
茨城県	1	5	1	1	-	-	-	1	7	84	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	4	-	2	-	-	-	-	3	30	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	4	-	3	-	-	-	-	4	33	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	9	-	-	-	-	-	4	19	403	-	18	-	-	-	-
千葉県	1	16	-	1	-	-	-	1	24	493	-	13	-	-	-	-
東京都	7	156	-	3	-	-	-	5	112	2336	-	40	-	-	-	-
神奈川県	1	21	-	2	-	-	-	1	61	1066	3	24	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	27	-	1	-	-	-	-
富山県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-
福井県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	12	-	1	-	-	-	-
長野県	-	5	-	2	-	-	-	-	2	41	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	10	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	7	-	1	-	-	-	-	7	98	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	18	-	-	-	-	-	5	9	163	-	6	-	-	-	-
三重県	-	3	-	-	-	-	-	-	5	49	-	4	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	6	54	-	-	-	-	-	-
京都府	1	2	-	1	-	-	-	-	15	119	-	3	-	-	-	-
大阪府	1	52	-	2	-	-	-	4	204	1758	1	12	-	-	-	1
兵庫県	2	16	-	1	-	-	-	-	85	701	2	6	-	-	-	-
奈良県	-	1	-	1	-	-	-	-	9	81	1	1	-	-	-	-
和歌山県	-	3	-	-	-	-	-	-	33	102	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	6	20	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	1	-	-	-	1	4	39	-	2	-	-	-	-
広島県	-	1	-	1	-	-	-	-	1	54	1	1	-	-	-	-
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	1	-	-	-	-	3	13	-	-	-	-	-	-
香川県	1	10	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	19	-	-	-	-	-	-
高知県	-	3	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	19	-	1	-	-	-	2	15	133	1	2	-	-	-	-
佐賀県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	3	1	1	-	-	-	1	2	54	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	1	-	-	-	-	1	18	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	2	-	3	-	-	-	-	2	18	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	5	-	2	-	-	-	-	14	208	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	23	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2013年21週

	インフルエンザ*		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	報告数	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	5981	1.21	429	2015	0.64	7276	2.31	24042	7.63	4713	1.50	2003	0.64	301	0.10	2141	0.68	
北海道	448	1.97	36	100	0.70	520	3.64	995	6.96	170	1.19	7	0.05	4	0.03	44	0.31	
青森県	172	2.69	14	16	0.39	51	1.24	129	3.15	23	0.56	7	0.17	3	0.07	22	0.54	
岩手県	73	1.14	-	15	0.38	92	2.30	247	6.18	69	1.73	-	-	15	0.38	19	0.48	
宮城県	107	1.15	6	21	0.36	123	2.12	580	10.00	124	2.14	11	0.19	17	0.29	60	1.03	
秋田県	36	0.65	6	12	0.34	55	1.57	203	5.80	31	0.89	-	-	2	0.06	12	0.34	
山形県	72	1.50	2	15	0.50	106	3.53	437	14.57	27	0.90	8	0.27	2	0.07	30	1.00	
福島県	110	1.45	14	17	0.38	89	1.98	256	5.69	71	1.58	2	0.04	-	-	28	0.62	
茨城県	24	0.20	3	33	0.44	150	2.00	463	6.17	70	0.93	21	0.28	6	0.08	24	0.32	
栃木県	31	0.41	3	8	0.17	99	2.06	223	4.65	66	1.38	27	0.56	-	-	38	0.79	
群馬県	68	0.69	-	18	0.30	106	1.77	439	7.32	57	0.95	8	0.13	-	-	19	0.32	
埼玉県	168	0.68	11	128	0.81	527	3.34	1294	8.19	257	1.63	83	0.53	8	0.05	119	0.75	
千葉県	166	0.81	7	91	0.70	398	3.06	995	7.65	205	1.58	27	0.21	10	0.08	85	0.65	
東京都	200	0.48	37	203	0.78	767	2.94	1906	7.30	342	1.31	118	0.45	55	0.21	214	0.82	
神奈川県	192	0.59	8	88	0.43	447	2.17	1393	6.76	267	1.30	78	0.38	31	0.15	154	0.75	
新潟県	112	1.17	8	47	0.77	254	4.16	814	13.34	124	2.03	49	0.80	32	0.52	48	0.79	
富山県	183	3.81	-	24	0.83	119	4.10	268	9.24	45	1.55	41	1.41	37	1.28	17	0.59	
石川県	95	1.98	4	25	0.86	110	3.79	175	6.03	62	2.14	9	0.31	-	-	14	0.48	
福井県	80	2.50	3	13	0.59	108	4.91	191	8.68	21	0.95	8	0.36	-	-	10	0.45	
山梨県	42	1.05	1	7	0.29	78	3.25	155	6.46	38	1.58	16	0.67	1	0.04	7	0.29	
長野県	182	2.09	-	3	0.06	201	3.72	625	11.57	85	1.57	5	0.09	1	0.02	31	0.57	
岐阜県	159	1.83	1	42	0.79	39	0.74	273	5.15	80	1.51	12	0.23	2	0.04	19	0.36	
静岡県	143	1.03	24	67	0.75	152	1.71	673	7.56	103	1.16	40	0.45	7	0.08	55	0.62	
愛知県	149	0.76	28	90	0.50	258	1.43	1361	7.52	218	1.20	39	0.22	10	0.06	127	0.70	
三重県	81	1.13	5	40	0.89	46	1.02	361	8.02	44	0.98	66	1.47	5	0.11	37	0.82	
滋賀県	26	0.49	1	15	0.47	33	1.03	208	6.50	54	1.69	17	0.53	1	0.03	8	0.25	
京都府	165	1.35	9	17	0.23	127	1.72	596	8.05	77	1.04	25	0.34	4	0.05	35	0.47	
大阪府	403	1.31	26	108	0.54	583	2.93	1645	8.27	295	1.48	129	0.65	13	0.07	150	0.75	
兵庫県	216	1.08	9	77	0.60	155	1.20	1159	8.98	218	1.69	32	0.25	11	0.09	79	0.61	
奈良県	66	1.20	3	14	0.40	46	1.31	215	6.14	46	1.31	23	0.66	1	0.03	16	0.46	
和歌山県	18	0.36	-	9	0.29	26	0.84	166	5.35	45	1.45	1	0.03	-	-	17	0.55	
鳥取県	25	0.86	-	6	0.32	85	4.47	127	6.68	28	1.47	31	1.63	-	-	10	0.53	
島根県	45	1.18	1	6	0.26	33	1.43	202	8.78	41	1.78	56	2.43	-	-	15	0.65	
岡山県	78	0.93	-	21	0.39	61	1.13	446	8.26	86	1.59	17	0.31	1	0.02	29	0.54	
広島県	44	0.38	25	80	1.11	156	2.17	618	8.58	80	1.11	80	1.11	1	0.01	40	0.56	
山口県	64	0.94	9	33	0.70	112	2.38	328	6.98	88	1.87	35	0.74	2	0.04	47	1.00	
徳島県	4	0.11	3	19	0.83	26	1.13	175	7.61	29	1.26	1	0.04	2	0.09	21	0.91	
香川県	9	0.18	2	20	0.67	38	1.27	215	7.17	41	1.37	10	0.33	-	-	33	1.10	
愛媛県	110	1.80	6	12	0.32	37	1.00	410	11.08	93	2.51	10	0.27	1	0.03	26	0.70	
高知県	7	0.15	-	4	0.13	19	0.63	182	6.07	39	1.30	4	0.13	-	-	21	0.70	
福岡県	441	2.23	28	155	1.29	383	3.19	784	6.53	307	2.56	440	3.67	3	0.03	124	1.03	
佐賀県	102	2.62	2	61	2.65	42	1.83	84	3.65	22	0.96	55	2.39	2	0.09	22	0.96	
長崎県	133	1.90	2	19	0.43	47	1.07	237	5.39	71	1.61	41	0.93	3	0.07	31	0.70	
熊本県	180	2.25	-	36	0.72	120	2.40	423	8.46	114	2.28	119	2.38	3	0.06	57	1.14	
大分県	99	1.71	4	29	0.81	75	2.08	510	14.17	47	1.31	42	1.17	1	0.03	36	1.00	
宮崎県	225	3.81	13	53	1.47	87	2.42	321	8.92	120	3.33	12	0.33	1	0.03	47	1.31	
鹿児島県	159	1.71	17	85	1.55	77	1.40	413	7.51	114	2.07	42	0.76	2	0.04	31	0.56	
沖縄県	269	4.64	48	13	0.38	13	0.38	122	3.59	59	1.74	99	2.91	1	0.03	13	0.38	

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2013年21週

	百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	29	0.01	465	0.15	888	0.28	19	0.03	486	0.71	8	0.02	16	0.03	241	0.51	19	0.04
北海道	-	-	2	0.01	8	0.06	1	0.03	16	0.55	-	-	-	-	5	0.22	-	-
青森県	-	-	8	0.20	8	0.20	-	-	8	0.73	-	-	-	-	11	1.83	-	-
岩手県	1	0.03	1	0.03	29	0.73	-	-	10	0.71	1	0.05	-	-	34	1.79	-	-
宮城県	-	-	19	0.33	25	0.43	-	-	9	0.75	-	-	-	-	10	0.83	-	-
秋田県	-	-	-	-	49	1.40	-	-	5	0.71	-	-	-	-	4	0.50	-	-
山形県	-	-	3	0.10	16	0.53	-	-	1	0.13	-	-	2	0.20	5	0.50	-	-
福島県	1	0.02	3	0.07	27	0.60	-	-	10	0.83	-	-	-	-	19	2.71	1	0.14
茨城県	-	-	2	0.03	10	0.13	2	0.12	30	1.76	-	-	-	-	12	0.92	-	-
栃木県	-	-	8	0.17	9	0.19	-	-	7	0.58	-	-	-	-	1	0.14	6	0.86
群馬県	-	-	2	0.03	24	0.40	-	-	20	1.43	-	-	1	0.13	5	0.63	-	-
埼玉県	1	0.01	12	0.08	53	0.34	3	0.07	25	0.60	-	-	1	0.10	10	1.00	2	0.20
千葉県	2	0.02	14	0.11	36	0.28	3	0.09	27	0.82	-	-	1	0.11	1	0.11	-	-
東京都	-	-	35	0.13	61	0.23	-	-	31	0.82	2	0.08	4	0.16	10	0.40	2	0.08
神奈川県	1	0.00	32	0.16	54	0.26	-	-	54	1.26	-	-	-	-	2	0.22	-	-
新潟県	1	0.02	1	0.02	4	0.07	-	-	11	1.10	-	-	-	-	4	0.31	5	0.38
富山県	-	-	6	0.21	2	0.07	-	-	2	0.33	-	-	-	-	2	0.40	-	-
石川県	-	-	3	0.10	6	0.21	-	-	4	0.57	-	-	-	-	6	1.20	-	-
福井県	2	0.09	2	0.09	16	0.73	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	1	0.04	1	0.04	3	0.13	-	-	2	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	1	0.02	3	0.06	-	-	7	0.64	-	-	-	-	6	0.55	-	-
岐阜県	-	-	6	0.11	18	0.34	-	-	8	0.73	-	-	-	-	6	1.20	-	-
静岡県	1	0.01	11	0.12	17	0.19	-	-	9	0.41	-	-	-	-	5	0.50	1	0.10
愛知県	3	0.02	7	0.04	61	0.34	-	-	11	0.32	-	-	-	-	12	0.92	-	-
三重県	-	-	9	0.20	7	0.16	-	-	5	0.42	1	0.11	1	0.11	1	0.11	1	0.11
滋賀県	-	-	5	0.16	6	0.19	-	-	6	0.75	-	-	-	-	3	0.43	-	-
京都府	-	-	11	0.15	12	0.16	-	-	7	0.39	-	-	-	-	1	0.14	-	-
大阪府	3	0.02	53	0.27	40	0.20	2	0.04	16	0.31	-	-	-	-	3	0.18	1	0.06
兵庫県	3	0.02	6	0.05	20	0.16	1	0.03	14	0.40	2	0.18	-	-	8	0.73	-	-
奈良県	-	-	2	0.06	4	0.11	-	-	6	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	2	0.06	1	0.03	-	-	2	0.50	-	-	-	-	6	0.55	-	-
鳥取県	-	-	7	0.37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-
島根県	-	-	2	0.09	1	0.04	-	-	-	-	-	-	1	0.13	2	0.25	-	-
岡山県	-	-	15	0.28	15	0.28	-	-	6	0.50	-	-	-	-	1	0.20	-	-
広島県	-	-	6	0.08	43	0.60	1	0.05	21	1.11	1	0.05	-	-	2	0.10	-	-
山口県	1	0.02	28	0.60	13	0.28	-	-	6	0.67	-	-	-	-	1	0.11	-	-
徳島県	-	-	5	0.22	7	0.30	-	-	2	0.50	-	-	1	0.20	-	-	-	-
香川県	-	-	2	0.07	7	0.23	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	1	0.03	9	0.24	-	-	11	1.38	-	-	-	-	2	0.33	-	-
高知県	1	0.03	1	0.03	8	0.27	-	-	-	-	-	-	-	2	0.25	-	-	-
福岡県	3	0.03	39	0.33	68	0.57	-	-	25	0.96	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	21	0.91	18	0.78	-	-	-	-	-	-	-	11	1.83	-	-	-
長崎県	-	-	12	0.27	16	0.36	6	0.75	9	1.13	-	-	1	0.08	6	0.50	-	-
熊本県	-	-	25	0.50	7	0.14	-	-	10	1.11	1	0.07	1	0.07	3	0.20	-	-
大分県	1	0.03	5	0.14	16	0.44	-	-	7	1.40	-	-	-	-	7	0.64	-	-
宮崎県	-	-	5	0.14	12	0.33	-	-	7	1.17	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.02	13	0.24	12	0.22	-	-	-	-	-	-	1	0.08	4	0.33	-	-
沖縄県	2	0.06	11	0.32	7	0.21	-	-	13	1.30	-	-	1	0.14	7	1.00	-	-

報告数・疾病・都道府県別
 2013年21週

	インフルエンザ (入院患者)
	報告数
総 数	31
北海道	1
青森県	1
岩手県	2
宮城県	1
秋田県	-
山形県	2
福島県	1
茨城県	-
栃木県	-
群馬県	1
埼玉県	-
千葉県	-
東京都	1
神奈川県	-
新潟県	-
富山県	-
石川県	2
福井県	-
山梨県	1
長野県	4
岐阜県	-
静岡県	1
愛知県	4
三重県	-
滋賀県	-
京都府	1
大阪府	-
兵庫県	-
奈良県	-
和歌山県	-
鳥取県	-
島根県	-
岡山県	-
広島県	-
山口県	-
徳島県	-
香川県	-
愛媛県	-
高知県	-
福岡県	2
佐賀県	2
長崎県	-
熊本県	1
大分県	1
宮崎県	-
鹿児島県	-
沖縄県	2

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年21週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2013年21週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第15巻 第21号 2013年6月7日発行
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症疫学センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

< 国立感染症研究所 感染症疫学センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症疫学センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。